

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ii. 操作手順</p> <p>低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1) a. (c) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、作業開始を判断してから低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水開始までの必要な要員数及び所要時間は以下のとおり。</p> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（北）又は原子炉・格納容器下部注水接続口（東）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（建屋内）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【格納容器スプレイ接続口（建屋内）を使用する場合（故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響がある場合）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員10名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ（タイプI）からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.4.3）</p> <p>(c) 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系及び低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位が維持できない場合において、代替循環冷却系が使用可能な場合[※]。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源、補機冷却水及び水源（サブプレッションチェンバ）が確保されている場合。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりNo. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(i)b.(c)と同様。</p>	<p>ii. 操作手順 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(d)代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）及び代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位が維持できない場合において、ろ過水ポンプが使用可能な場合*。 ※：設備に異常がなく、電源及び水源（ろ過水タンク）が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1)a.(e)ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してからろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水開始まで20分以内で可能である。</p>	<p>(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b. (d) と同様。</p>	<p>【比較のため、比較表 p1.4-148 より再掲】</p> <p>(b) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に非常用炉心冷却系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を維持できない場合において、低圧代替注水系（可搬型）が使用可能な場合※。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源、燃料及び水源（淡水貯水槽（No.1）又は淡水貯水槽（No.2））が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水については、「1.4.2.1(1) a. (c) 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。手順の対応フローを第1.4-5図及び第1.4-6図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、作業開始を判断してから低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水開始までの必要な要員数及び所要時間は以下のとおり。</p> <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（北）又は原子炉・格納容器下部注水接続口（東）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【原子炉・格納容器下部注水接続口（建屋内）を使用する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員9名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>【格納容器スプレィ接続口（建屋内）を使用する場合（故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響がある場合）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び重大事故等対応要員10名にて作業を実施した場合、385分以内で可能である。 <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。大容量送水ポンプ（タイプI）からのホースの接続は、汎用の結合金具であり、</p>	<p>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで260分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（大飯理由⑩）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>十分な作業スペースを確保していることから、容易に実施可能である。</p> <p>また、車両付属の作業用照明及び可搬型照明（ヘッドライト及び懐中電灯）を用いることで、夜間における作業性についても確保している。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.4.3）</p>	<p>(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで185分以内で可能である。</p> <p>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>格納容器圧力及び温度が上昇した場合は、格納容器スプレイポンプを用いた格納容器スプレイ又は格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却による格納容器冷却に期待する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.14図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を</p>		<p>認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b.(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで235分以内で可能である。</p> <p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、高圧注入ポンプにより格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水し、あわせてC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内の冷却を行う。また、格納容器内自然対流冷却を使用できない場合は、格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ再循環運転を行い原子炉格納容器内の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.16図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉容器への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）△は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による発電用原子炉の冷却が可能とな</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・いずれの記載も高圧注入ポンプによる再循環運転時において、原子炉格納容器内の冷却を格納容器スプレイポンプによる再循環運転又は格納容器内自然対流冷却にて実施することに相違なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>指示する。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量で確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度等の指示により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転は、中央制御室で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)d.(a)と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>		<p>れば、開始を指示する。</p> <p>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉容器へ注水されていることを高圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等の指示値により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) B一格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 発電用原子炉停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、B一格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に高圧注入ポンプの故障等により、原子炉容器への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 B一格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転については、1.4.2.1(1)d.(a)「B一格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで15分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p>	<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.31図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.32図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.31図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.32図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違 ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。 なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を蒸気発生器水張り流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>(c) SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、補助給水ピット水を SG 直接給水用高圧ポンプにより蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を主給水ライン流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は準備に時間を要することから、補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>		<p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで350分以内で可能である。</p> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで260分以内で可能である。</p>	<p>注水ができない場合に準備を開始する。 (川内1/2号炉及び玄海3/4号炉と同様。)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>	<p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。 なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで325分以内で可能である。</p> <p>f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器真空度が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード 主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。 蒸気発生器2次側フィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>		<p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.33図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出 発電用原子炉停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概要図を第1.4.34図に示す。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却 主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。 海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略系統を整理している。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】設備の相違（相違理由⑩）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代</p>		<p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>ii. 操作手順 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで565分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>替低圧注水ポンプ用)、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>i. 優先順位</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気発生器への注水は、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプ又は復水ピットを水源とした蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水を行う。蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)は使用準備に時間を要することから電動主給水ポンプを優先して使用する。</p> <p>蒸気放出については、主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>外部電源、代替交流電源設備等により交流電源が確保できた場合、復水貯蔵タンクが使用可能であれば低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>復水貯蔵タンクが使用できない場合、代替循環冷却系、ろ過水ポンプ又は低圧代替注水系(可搬型)により原子炉圧力容器へ注水する。</p> <p>なお、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水を実施する際の注入配管の選択は、注水流量が多いものを優先して使用する。優先順位は以下のとおり。</p> <p>優先①：残留熱除去系(A) 注入配管 優先②：残留熱除去系(B) 注入配管</p>	<p>h. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。</p> <p>原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却として、蒸気放出は主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。蒸気発生器への注水には、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、操作の容易性から脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。電動主給水ポンプが使用できない場合は補助給水ピットを水源としたSG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映) 【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④) ・泊3号炉は、補助給水ポンプの代替手段のうち、常設設備は電動主給水ポンプとSG直接給水用高圧ポンプがあり、中央制御室からの操作で注水可能な電動主給水ポンプを優先する。</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由④) ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、中央制御室で操作可能であり早期に運転が可能となる充てんポンプ、その次に準備時間の短い高圧注入ポンプによる原子炉への注水を行う。充てんポンプ及び高圧注入ポンプが使用できない場合は、燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピットからの重力注水ができない場合は、蓄圧タンクによる炉心注水を行う。</p> <p>上記により原子炉への注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と恒設代替低圧注水ポンプの優先順位は、準備時間が短いA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p>		<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による冷却を行う。まず、充てんポンプによる原子炉容器への注水を行う。充てんポンプが使用できない場合は、高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、中央制御室のみで実施可能である燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。それができない場合は、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を行う。</p> <p>なお、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水と代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水の優先順位は、準備時間が短いB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊3号炉も充てんポンプによる炉心注水は中央制御室から操作可能。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦） 【大飯】運用の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転だけでも十分な冷却効果はあるが、余熱除去ポンプによる冷却効果を補うため、あわせてA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.41 図に示す。</p>	<p>c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系ポンプを起動して発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合において、原子炉冷却材浄化系が使用可能な場合*。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第 1.4-35 図に、タイムチャートを第 1.4-36 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源、補機冷却水並びに電源容量が確保されていることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度の温度設定が 49℃であることを確認する。</p> <p>④運転員（中央制御室）A は、CUW 入口ライン元弁及び CUW ボトムドレンライン元弁が全開であることを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）A は、系統構成として CUW 入口ライン第一隔離弁及び CUW 入口ライン第二隔離弁の全開操作並びに CUW ろ過脱塩装置バイパス弁の開操作を実施する。</p>	<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプを用いた高圧再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、B-格納容器スプレイポンプ及びB-格納容器スプレイ冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉容器への注水操作を行う。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>⑥運転員（中央制御室）Aは、発電課長に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱準備が完了したことを報告する。</p> <p>⑦発電課長は、運転員に原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（A）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑨運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）を起動し、速やかにCUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施し、原子炉冷却材浄化系入口流量指示値の上昇を確認する。</p> <p>⑩運転員（中央制御室）Aは、CUWポンプ（B）パーズライン止め弁の全開操作を実施する。</p> <p>⑪運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）を起動し、CUWろ過脱塩装置バイパス弁の調整開操作を実施する。</p> <p>⑫運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系ポンプ（A）及び原子炉冷却材浄化系ポンプ（B）の起動が完了したことを発電課長に報告する。</p> <p>⑬運転員（中央制御室）Aは、原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱が開始されたことを原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度指示値の上昇が緩和することにより確認し、発電課長に報告する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱開始まで35分以内で可能である。</p> <p>d. 重大事故等時の対応手段の選択 重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による崩壊熱除去機能が喪失した場合、非常用交流電源設備又は常設代替交流電源設備が使用可能であれば原子炉冷却材浄化系により発電用原子炉からの除熱を実施する。</p>		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 代替炉心注水 【比較のため、比較表p1.4-167より再掲】</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順 【比較のため、川内1/2号炉技術的能力1.4まとめ資料1.4.2.3(2)より引用】</p> <p>運転停止中のミッドループ運転期間中において、全交流動力電源喪失+原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合の炉心注入手段については、常設電動注入ポンプによる炉心注入のほか、蓄圧タンクによる炉心注入（その後に続く常設電動注入ポンプによる炉心注入）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクの炉心注入は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p>	<p>(2) サポート系故障時の対応手順</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水（その後に続く代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクによる原子炉容器への注水は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.22)</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名により作業を実施した場合、作業開始を判断してから代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水開始まで35分以内で可能である。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦） ・代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の次に燃料取替用水ピットの重力注水を実施し、これに並行して、B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水準備も開始する。</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合には、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.19)</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>燃料取替用水ピットからの重力注水の原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第 1.4.40 図に、タイムチャートを第 1.4.42 図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水の準備を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。 ③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。 ④ 運転員等は、現場で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位^{*1}及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。 ⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度により、原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。 <p>※10：全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。また、空冷式非常用発電装置により電源喪失から30分後には電源が回復するため、30分以降も継続監視が可能である。</p>		<p>(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中のミッドループ運転中において、代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1)b.(a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、常設代替交流電源設備からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約25分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p> <p>(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備である余熱除去ポンプの機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蓄圧タンクにより原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>蓄圧タンクによる代替炉心注水についてはタンク内圧力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>燃料取替用水ビットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ビット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ビットが使用できない場合は、復水ビットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p>		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。</p> <p>操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違(相違理由③)</p> <p>【大飯】設備の相違(相違理由⑦)</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・泊との比較は下段の「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」にて実施する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</p> <p>(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>B充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源が喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時は、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）の機能喪失により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(c)と同様。</p>		<p>(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-充てんポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉容器への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(b)「B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑬）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失時、B充てんポンプ（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を充てん水流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(d)と同様。</p> <p>(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル消火ポンプによりNo.2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 また、運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによりNo.2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>		<p>作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(d) B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にB充てんポンプの故障等により原子炉容器への注水を充てん流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(2)a.(c)「B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名により作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで50分以内で可能である。</p> <p>(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。 また、発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉容器へ注水する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1)b. (c)と同様。</p> <p>(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1)b. (d)と同様。</p>		<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉容器へ注水するために必要な過水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1)b. (c)の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名及び運転員（現場）2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから消火ポンプによる原子炉容器への注水開始まで40分以内で可能である。</p> <p>(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉容器への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水について、1.4.2.1(1)b. (d)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで260分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS 連絡ライン使用）の故障等により、原子炉容器への注水をB一格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで185分以内で可能である。</p> <p>(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉容器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS 連絡ライン使用）の故障等により、原子炉容器への注水をB一格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水については、1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B 高压注入ポンプ（海水冷却）を用いた高压代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで235分以内で可能である。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高压代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(b)i.と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</p>		<p>(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</p> <p>i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</p> <p>発電用原子炉停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内を冷却する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2)b.(a)i.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</p>		<p>(iii) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</p> <p>(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水されていることを補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「SG 直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで60分以内で可能である。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで350分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで260分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p>		<p>器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで325分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出） (a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1) b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員3名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで565分以内で可能である。</p> <p>f. 復旧</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由㊟）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧</p> <p>(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態[*]に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、系統構成として、RHR ポン</p>	<p>(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ブ (A) S/C 吸込弁, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びにRHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁, RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁, RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し, 残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は, 運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は, 残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し, 残留熱除去系ポンプ (A) の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後, RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し, 発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は, 発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し, 発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は, RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整し, 発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始まで 30 分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名, 運転員 (現場) 1 名及び災害対策要員 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから原子炉容器への注水開始まで 40 分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 全交流動力電源喪失により, A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は, 常設代替交流電源設備により A-高圧注入ポンプの電源を復旧することで, 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお, 常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、「1.4.2.1(2) b. (a) i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名で実施する。 操作については、中央制御室で通常の運転操作にて対応する。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>		<p>却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p>		<p>絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>			<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p>(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。</p> <p>④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す</p>		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p>(添付資料 1.4.23)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全作業員の退域を確認する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。 ・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 （添付資料 1.4.22）</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 （添付資料 1.4.23）</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-37図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系 LPCI 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系 LPCI 注入隔離弁を全閉後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系 S/C スプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）によりLPCS注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準 高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.38図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の開操作及び余熱除去ポンプRWSP側入口弁の開操作を実施する。 ③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。 ④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。 <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-39図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンブ側入口弁の全開操作並びに余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁及び余熱除去ライン入口止め弁の全開操作を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>相違理由</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。 ・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。 <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「水源を利用した対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映） 【大飯】記載方針の相違 ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・参照先の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-192より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。 泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の1.4.2.5 で網羅している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-140より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-160より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(i)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.3(i)h.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
<p>第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/9) (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<p>第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/22) (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>手順書</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">重大事故等対処設備 (設計基準拡張)</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> <td>残留熱除去系ポンプ サブプレッショントラップ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレート ※3 原子炉圧力容器 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイスポンプ</td> <td>低圧炉心スプレイスポンプ</td> <td>低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 低圧炉心スプレイス 配管・弁・ストレート・スパージョ 原子炉圧力容器 炉心冷却回路 (炉心冷却回路を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2</td> <td>非常時操作手順書 (事故ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時の冷却運転」</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※3：手順は「1.5 最終冷却タンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】3b) 項を満足するための代替淡水源 (措置) ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系ポンプ サブプレッショントラップ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレート ※3 原子炉圧力容器 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 低圧炉心スプレイス 配管・弁・ストレート・スパージョ 原子炉圧力容器 炉心冷却回路 (炉心冷却回路を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時の冷却運転」	<p>第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/22) (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類※1</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">重大事故等対処設備 (設計基準拡張)</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> <td>高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1 炉内循環設備 (高圧注水系)※1</td> <td>一級設計基準事故対処設備</td> <td>事故の判別を行う運転手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイスポンプ</td> <td>低圧炉心スプレイスポンプ</td> <td>低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 非常用取水設備 1 炉冷却設備 非常用交流電源設備※1</td> <td>一級設計基準事故対処設備</td> <td>事故の判別を行う運転手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1</td> <td>一級設計基準事故対処設備</td> <td>事故の判別を行う運転手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)</td> <td>高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1</td> <td>一級設計基準事故対処設備</td> <td>事故の判別を行う運転手順書</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：重大事故等対策において用いる設備の分類 ※3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ①：対策に適合する重大事故等対処設備 ②：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類	重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1 炉内循環設備 (高圧注水系)※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 非常用取水設備 1 炉冷却設備 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理</p>
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書																																																
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系ポンプ サブプレッショントラップ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレート ※3 原子炉圧力容器 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」																																																	
	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 低圧炉心スプレイス 配管・弁・ストレート・スパージョ 原子炉圧力容器 炉心冷却回路 (炉心冷却回路を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイスポンプによる原子炉注水」																																																	
	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (事故ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時の冷却運転」																																																	
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類																																															
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1 炉内循環設備 (高圧注水系)※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																																															
	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ	低圧炉心スプレイスポンプ サブプレッショントラップ 非常用取水設備 1 炉冷却設備 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																																															
	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																																															
	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	高圧注水ポンプ ほう難注入タンク 熱交換器 非常用取水設備 (高圧注水系) 配管・弁 非常用取水設備 1 炉冷却設備 原子炉冷却 非常用交流電源設備※1	一級設計基準事故対処設備	事故の判別を行う運転手順書	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.1章 機軸喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機軸喪失時)

分類	機軸喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全機軸停止ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ	① 圧入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 1次系冷却ポンプ 1次系冷却ポンプ	① 圧入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ	① 圧入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ
		② 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	② 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	② 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		③ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	③ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	③ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		④ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	④ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	④ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑤ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑤ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑤ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑥ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑥ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑥ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑦ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑦ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑦ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑧ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑧ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑧ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑨ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑨ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑨ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
		⑩ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑩ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑩ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/9)
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機軸喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	機軸停止ポンプ (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
フロントライン系故障	機軸停止ポンプ (高圧注入ポンプ)	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電路の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終トリップクォーラを供給するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】14) 項を満足するための代替機軸 (指図)
 ※5：機軸停止ポンプ (高圧注入ポンプ) は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (2/22)
 (1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機軸喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全機軸停止ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ 又は 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	① 圧入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	② 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	③ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	④ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑤ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑥ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑦ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑧ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑨ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ
			高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ	⑩ 高圧注入ポンプを用いた燃料冷却ポンプ 燃料冷却ポンプ 高圧注入ポンプ 燃料冷却ポンプ

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電路の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：重大事故等発生において用いる設備の指図
 ※4：指図を発生に適合する重大事故等対応設備 ※5：指図を発生に適合する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バランサリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.1 表を再掲】

第 1.4.1 表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類				
1次冷却材喪失事故が発生している場合	余熱除去ポンプ又は冷却材回収ポンプ又は燃料再循環ポンプ	中心圧水(①)	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	中心の新しい損傷及び燃料再循環を防止する運転手順				
						②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等
						③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等
						④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等
						⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等
						⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等
						⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等
						⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等
						⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等
						⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等

対応手段、対応設備、手順書一覧 (3/9)

(発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類				
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は冷却材回収ポンプ又は燃料再循環ポンプ	中心圧水(①)	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	中心の新しい損傷及び燃料再循環を防止する運転手順				
						②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等
						③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等
						④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等
						⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等
						⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等
						⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等
						⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等
						⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等
						⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等

対応手段、対応設備、手順書一覧 (3/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類				
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は冷却材回収ポンプ又は燃料再循環ポンプ	中心圧水(①)	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	A: 高圧注入ポンプ等 燃料再循環ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ 高圧ポンプ	中心の新しい損傷及び燃料再循環を防止する運転手順				
						②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等	②: 高圧注入ポンプ等
						③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等	③: 高圧注入ポンプ等
						④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等	④: 高圧注入ポンプ等
						⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等	⑤: 高圧注入ポンプ等
						⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等	⑥: 高圧注入ポンプ等
						⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等	⑦: 高圧注入ポンプ等
						⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等	⑧: 高圧注入ポンプ等
						⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等	⑨: 高圧注入ポンプ等
						⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等	⑩: 高圧注入ポンプ等

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.2 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

情報	機能喪失を想定する設計基準事故の状況	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系機能喪失時 全交直電力喪失時	機能喪失を想定する設計基準事故の状況	対応手段	可動型代替圧注水ポンプ	a,b	可動型代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順 可動型代替圧注水ポンプの燃料供給に使用する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	c	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			自然対流ポンプ (自然循環)	a	自然対流ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			重油タンク	a,b	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			A格納容器スプレッドポンプ (自然循環) (R11RS-CSS重油ライン使用)	a	A格納容器スプレッドポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			ディーゼル油ポンプ	a	ディーゼル油ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N ₂ 送水ポンプ	a	N ₂ 送水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可動型代替圧注水ポンプ	a	可動型代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
重油タンク	a	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
軽油ドラム	a	軽油ドラムを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
自然対流ポンプ (自然循環)	a	自然対流ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
大容量ポンプ	a,b	大容量ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
格納容器再循環ポンプ	a,b	格納容器再循環ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
格納容器再循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器再循環ポンプスクリーンを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
重油タンク	a,b	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			

※1：1次冷却材圧力バウンダリ低圧時に発生する原子炉冷却材喪失の危険に備える措置
 ※2：手順は「1.14 電源の喪失」に関する手順等にて整備する。
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の喪失」に関する手順等にて整備する。
 ※4：可動型代替圧注水ポンプにより炉心に送水する場合は送水ポンプを使用する。
 ※5：可動型代替圧注水ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※6：送水ポンプの燃料供給に使用する装置のみの場合。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※8：手順は「1.5 燃料冷却ポンプ」に関する手順等にて整備する。
 ※9：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故対策対応設備 b：対応に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (6/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の状況	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
サポート系機能喪失時	機能喪失を想定する設計基準事故の状況	対応手段	可動型代替圧注水ポンプ	a,b	可動型代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順 可動型代替圧注水ポンプの燃料供給に使用する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	c	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			自然対流ポンプ (自然循環)	a	自然対流ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			重油タンク	a,b	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			A格納容器スプレッドポンプ (自然循環) (R11RS-CSS重油ライン使用)	a	A格納容器スプレッドポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			ディーゼル油ポンプ	a	ディーゼル油ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N ₂ 送水ポンプ	a	N ₂ 送水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可動型代替圧注水ポンプ	a	可動型代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
			燃料冷却ポンプ	a	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾
重油タンク	a	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
軽油ドラム	a	軽油ドラムを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
自然対流ポンプ (自然循環)	a	自然対流ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
大容量ポンプ	a,b	大容量ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
格納容器再循環ポンプ	a,b	格納容器再循環ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
格納容器再循環ポンプスクリーン	a,b	格納容器再循環ポンプスクリーンを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
重油タンク	a,b	重油タンクを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代替圧注水により原子炉を冷却する手順	S/A所達 ¹⁾			

※1：可動型代替圧注水ポンプにより炉心に送水する場合は送水ポンプを使用する。
 ※2：手順は「1.14 電源の喪失」に関する手順等にて整備する。
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の喪失」に関する手順等にて整備する。
 ※4：可動型代替圧注水ポンプにより炉心に送水する場合は送水ポンプを使用する。
 ※5：可動型代替圧注水ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※6：送水ポンプの燃料供給に使用する装置のみの場合。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給」に関する手順等にて整備する。
 ※8：手順は「1.5 燃料冷却ポンプ」に関する手順等にて整備する。
 ※9：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故対策対応設備 b：対応に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対策設備による対応手段を整理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.2 表 (1/2) を再掲】

第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の 1 次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系故障時) (1/2)

情報	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
1 次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系故障時 全交直電力電源喪失時	代直炉心注水設備	代直炉心注水設備	可動型代直炉心注水ポンプ	可動型代直炉心注水ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置*	空冷式冷却材循環装置を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			自然対流ポンプ (自然循環)	自然対流ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
代直炉心注水ポンプ (緊急冷却)	代直炉心注水ポンプ (緊急冷却) を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
可動型代直炉心注水ポンプ	可動型代直炉心注水ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
空冷式冷却材循環装置*	空冷式冷却材循環装置を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプを用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			
送水車	送水車を用いた代直炉心注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書			

※1：1次冷却材圧力バウンダリ低圧時における原子炉冷却材循環のための活動に関する内容
 ※2：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用可能。手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可動型代直炉心注水ポンプにより炉心を冷却する場合は送水車を要する。
 ※5：電源喪失 (可動型代直炉心注水ポンプ) の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料供給に使用する装置時のみである。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。
 ※7：空冷式冷却材循環装置に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順は「1.5 燃料冷却材ポンプを駆動するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該装置に適合する重大事故対策対応設備 b：対応に適合する重大事故対策対応設備 c：主目的装置として整備する重大事故対策対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (7/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

情報	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備の分類	整備する手順書	手順の分類
1 次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系故障時 全交直電力電源喪失時	代直炉心注水設備	代直炉心注水設備	可動型代直炉心注水ポンプ	可動型代直炉心注水ポンプ	可動型代直炉心注水ポンプ	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置*	空冷式冷却材循環装置	空冷式冷却材循環装置	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
1 次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系故障時 全交直電力電源喪失時	代直炉心注水設備	代直炉心注水設備	燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプ	燃料冷却材ポンプ	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書
			送水車	送水車	送水車	炉心の著しい温度低下と格納容器内圧力の上昇を抑制する運転手順書

* 1：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 * 2：手順は「1.6 燃料冷却材ポンプを駆動するための手順等」にて整備する。
 * 3：C、D-格納容器内圧力バウンダリ低圧時の燃料供給に使用可能。手順は「1.7 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。
 * 4：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該装置に適合する重大事故対策対応設備 b：対応に適合する重大事故対策対応設備 c：主目的装置として整備する重大事故対策対応設備

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用される設備に記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

図 1.4.3 機器喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順（溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合）

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1.4.3.3 冷却材圧力バウンダリが低下し、事故が発生している場合	熱源容器本体冷却系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系	熱源容器本体冷却系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系

※1：大阪発電所、重事故等発生時は原子炉冷却材の圧力低下の抑制に関する措置
 ※2：タービンの運転等により行われる
 ※3：手順は「1.4.3.3 冷却材の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式内蔵型圧力バウンダリにより冷却水を送る場合は海水を含む。
 ※5：可搬式内蔵型圧力バウンダリは冷却材の供給に使用される。手順は「1.4.3.3 冷却材の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：可搬式内蔵型圧力バウンダリ（可搬式）は冷却材の供給に使用される。手順は「1.4.3.3 冷却材の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：可搬式内蔵型圧力バウンダリ（可搬式）は冷却材の供給に使用される。手順は「1.4.3.3 冷却材の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該発生に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/9)
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※5：残留熱除去系（低圧水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (6/9)
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※5：残留熱除去系（低圧水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/22)
 (溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
1.4.3.3 冷却材圧力バウンダリが低下し、事故が発生している場合	熱源容器本体冷却系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系	熱源容器本体冷却系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系 熱源容器冷却水循環系	熱源容器本体冷却系	熱源容器本体冷却系	熱源容器本体冷却系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系
			熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系	熱源容器冷却水循環系

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：可搬式大型送水ポンプにより送水を行う場合は海水を含む。
 ※4：可搬式の相違は、2号機熱源タンク又は送水ポンプの相違によることにより行う。
 ※5：C、D-熱源容器内格納タンクによる熱源容器内自然冷却は「1.7 原子炉格納容器の過圧状態を防止するための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該発生に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (1 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
1 次冷却材喪失事故が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付添設部	運転中の1次冷却材喪失事故(注1)	電動制御給水ポンプ	B	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
			蒸気発生器又は熱交換器による加圧冷却(注2)			
			蒸気発生器			
			電動給水ポンプ			
		運転中の1次冷却材喪失事故(注3)	蒸気発生器又は熱交換器による加圧冷却(注2)	A	蒸気発生器	故障及び設計基準事故に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
			蒸気発生器			
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
運転中の1次冷却材喪失事故(注4)	ポンプ車	C	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次冷却材のフリードリにより原子炉を冷却する手順	緊急時の措置及び特設設備の稼働を停止する運転手順書		
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					

注1：1次冷却材喪失(重大事故発生時)における原子炉冷却材の圧力の低減に関する措置
 注2：タービン駆動機等により駆動する。
 注3：本項は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：本項は「1.5 蒸気発生器」を参照して整備する。
 注5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：対応策に適合する重大事故等対応設備 b：対応策に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (9/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ又は余熱除去付添設部	運転中の1次冷却材喪失事故(注1)	電動制御給水ポンプ	B	故障及び設計基準事故に対する運転手順書	
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
			蒸気発生器又は熱交換器による加圧冷却(注2)			
			蒸気発生器			
			電動給水ポンプ			
		運転中の1次冷却材喪失事故(注3)	蒸気発生器又は熱交換器による加圧冷却(注2)	A	蒸気発生器	故障及び設計基準事故に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
			蒸気発生器			
			タービン駆動給水ポンプ			
			潜水給水ポンプ			
運転中の1次冷却材喪失事故(注4)	ポンプ車	C	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次冷却材のフリードリにより原子炉を冷却する手順	緊急時の措置及び特設設備の稼働を停止する運転手順書		
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					
	ポンプ車					

注1：手順2 (1.14) 電源の喪失に関する手順等にて整備する。
 注2：手順2 (1.2) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等にて整備する。
 注3：本項は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：本項は「1.5 蒸気発生器」を参照して整備する。
 注5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：対応策に適合する重大事故等対応設備 b：対応策に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対象として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.4表（1/2）を再掲】

第1.4.4表 機器喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1/2）

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	評価分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	電動駆動給水ポンプ	B	高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ			
			積水ピット			
			蒸気発生器			
			電動主給水ポンプ			
			蒸気発生器2次側			
			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順			
主蒸気発生器	B	高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書			
タービンバイパス						
ポンプ室 ^{b)}						
注水車						

注1：「大事故電源」重大事故電源発生時に3号炉原子炉冷却材の圧力低下を抑制するための稼働に際する計画
 注2：タービン駆動ポンプ等より給水方式
 注3：手順は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：手順は「1.5 燃料ピットシフト～蒸気発生器2次側による炉心冷却」にて整備する。
 注5：重大事故発生時に用いる「大事故電源」
 a：当該施設に適合する重大事故等対処設備 b：BWRに適合する重大事故等対処設備 c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（10/22）

（1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時）

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	評価分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	電動駆動給水ポンプ	B	高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動給水ポンプ			
			積水ピット			
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	蒸気発生器	B	高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービンバイパス			
			ポンプ室 ^{b)}			
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	冷却材ポンプ 又は 冷却材高圧ポンプ	注水車	B	高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービンバイパス			
			ポンプ室 ^{b)}			

注1：「大事故電源」重大事故電源発生時に3号炉原子炉冷却材の圧力低下を抑制するための稼働に際する計画
 注2：タービン駆動ポンプ等より給水方式
 注3：手順は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順は、注水ポンプラインを使用する。
 注5：高気圧発生による炉心冷却（注水）の手順は、注水ポンプラインにより積水をを行う。
 注6：重大事故発生時に用いる「大事故電源」
 a：当該施設に適合する重大事故等対処設備 b：BWRに適合する重大事故等対処設備 c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は流路及び給電に使用される設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.4表 機組喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合）（2/2）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故(設計設備)	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類	
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直電力電源*	サポート系機組喪失時	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	a	蒸気発生器2の冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a,b	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書

注1：重大事象発生時、重大事故発生時における原子炉冷却の低圧時の対応に関する事項
 注2：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 注3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注6：空冷式冷却材供給設備の稼働時に使用する。手順は「1.14 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 注7：重大事象発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：対応に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故(設計設備)	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類	
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直電力電源*	サポート系機組喪失時	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本) 蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	a	蒸気発生器2の冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a,b	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書
				a	蒸気発生器2と冷却材ポンプによる炉心冷却(注本)	B/Cの著しい損傷及び機組喪失防止する運転手順書

*1：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *3：可搬型大型冷却材ポンプにより炉心を蒸気発生器2で冷却する。
 *4：蒸気発生器2の稼働は、2号冷却材ポンプ又は3号冷却材ポンプの稼働することにより行う。
 *5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対処設備 b：対応に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機建優先を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順等	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全の稼働力確保	高気圧発生を抑制し、また冷却材の喪失を抑制する	電動補助給水ポンプ	a)	高気圧発生2段階による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び炉管破断の防止を目的とする運転手続等
			空冷式冷却用発電機 ^{b)}			
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b)	空冷式冷却用発電機燃料補給の準備	S/A ^{c)}
			深水泵 ^{d)}			
			高気圧発生	a)	空冷式冷却用発電機燃料補給の準備	S/A ^{c)}
			燃料補給機 ^{e)}			
			重湯タンク ^{f)}	a)	空冷式冷却用発電機燃料補給の準備	S/A ^{c)}
			タンクローリー ^{g)}			
			高気圧発生抑制用中間貯留タンク(電動) ^{h)}	a)	空冷式冷却用発電機燃料補給の準備	S/A ^{c)}
			深水泵			
運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合	全の稼働力確保	高気圧発生を抑制し、また冷却材の喪失を抑制する	主蒸気発生炉 ⁱ⁾	a,b)	主蒸気発生炉の運転	炉心の著しい損傷及び炉管破断の防止を目的とする運転手続等
			ポンプ ^{j)}			
運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合	全の稼働力確保	高気圧発生を抑制し、また冷却材の喪失を抑制する	深水泵	a)	ポンプを用いた高気圧発生炉の冷却	S/A ^{c)}
			ポンプ ^{k)}			

※1：「重大事象等」：重大事象等発生時に1次冷却材圧力バウンダリを維持するための活動に要する設備
 ※2：手順は「1.14 電機が故障した際の運転」にて整備する。
 ※3：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低下時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 高気圧発生抑制用中間貯留タンクを稼働させるための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.5 燃料補給機を稼働させるための手順等」にて整備する。
 ※6：空冷式冷却用発電機の燃料補給機に使用する。手順は「1.14 電機が故障した際の運転」にて整備する。
 ※7：重大事象発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (12/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機建優先を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順等	手順の分類
運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合	全の稼働力確保	高気圧発生を抑制し、また冷却材の喪失を抑制する	主蒸気発生炉 ^{※1)} 高気圧発生炉 ^{※2)} 2次冷却設備 (主蒸気発生炉) 配管・弁	a, b)	高気圧発生炉の運転時における対応手順	炉管及び設計基準事故に対応する運転手続等
			可動型大気圧給水ポンプ ^{※3)} 可動型コース・接続口 ポンプ駆動・回収車 (遠水車用) 高気圧発生炉 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (燃料給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気発生炉) 配管・弁 深水泵 燃料補給機 ^{※4)}			
			電動補助給水ポンプ ^{※5)} 電動補助給水ポンプ 高気圧発生炉 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (燃料給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気発生炉) 配管・弁 深水泵 燃料補給機 ^{※6)}	a)	高気圧発生炉の運転時における対応手順	炉管及び設計基準事故に対応する運転手続等
			電動補助給水ポンプ ^{※7)} 電動補助給水ポンプ 高気圧発生炉 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (燃料給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気発生炉) 配管・弁 深水泵 燃料補給機 ^{※8)}			

※1：手順は「1.1 炉心の冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.3 高気圧発生抑制用中間貯留タンクを稼働させるための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大気圧給水ポンプにより炉心を高気圧発生炉へ注水する。
 ※4：高気圧発生炉の運転時に、主蒸気発生炉の燃料補給機に燃料補給機を稼働させる。
 ※5：高気圧発生炉の燃料補給機を稼働させる。
 ※6：高気圧発生炉の燃料補給機を稼働させる。
 ※7：高気圧発生炉の燃料補給機を稼働させる。
 ※8：高気圧発生炉の燃料補給機を稼働させる。
 a：自主的対策として整備する重大事故等対応設備 b：27条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系故障時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類		
運転停止中の発生	フロントライン系故障	運転停止中の発生	共通	A. 冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	a	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	ab	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順

※1：「大規模故障」：重大事故発生時に「3」を要する設計基準事故の発生に際しての対応。
 ※2：「プールの冷却」：炉心温度の低下により発生。
 ※3：「手順」：「1.14」電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ※4：「法的な規制」：原子力規制委員会に提出する。手順は「1.14」電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ※5：「炉管腐蝕防止」：炉管腐蝕防止剤の供給を確保する。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※6：「燃料供給」：可変式燃料供給システムを用いた燃料供給を確保する。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※7：「送水」：燃料供給システムに使用される送水の手順。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※8：「重大事故発生」：重大事故発生時に「3」を要する設計基準事故の発生に際しての対応。
 ※9：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※10：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※11：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※12：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※13：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※14：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※15：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。

対応手段、対応設備、手順書一覧(7/9)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書		
運転停止中の発生	フロントライン系故障	運転停止中の発生	共通	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順

※1：手順は「1.13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等にて整備する。
 ※2：手順は「1.14」電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ※3：手順は「1.5」最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等にて整備する。
 ※4：「1.13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】1b)項を満足するための代替冷却水（措置）
 ※5：冷却材ポンプ（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換機は送流としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧(14/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類	
運転停止中の発生	フロントライン系故障	運転停止中の発生	共通	冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順
				冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた冷却材の供給を確保する手順	炉心の高い温度及び炉管腐蝕防止を抑制する運転手順

※1：手順は「1.14」電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ※2：可変式燃料供給システムにより炉心を冷却するための燃料供給を確保する。
 ※3：重大事故発生時に「3」を要する設計基準事故の発生に際しての対応。
 ※4：法的な規制に提出する。手順は「1.14」電圧の確保に関する手順等にて整備する。
 ※5：「炉管腐蝕防止」：炉管腐蝕防止剤の供給を確保する。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※6：「燃料供給」：可変式燃料供給システムを用いた燃料供給を確保する。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※7：「送水」：燃料供給システムに使用される送水の手順。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※8：「重大事故発生」：重大事故発生時に「3」を要する設計基準事故の発生に際しての対応。
 ※9：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※10：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※11：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※12：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※13：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※14：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。
 ※15：「冷却材ポンプ」：冷却材ポンプの故障。手順は「1.6」炉管腐蝕防止剤の供給のための手順等にて整備する。

【大阪】
 記載方針の相違
 ・泊は送流及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

【比較のため、第1.4.5表 (1/2) を再掲】

表 1.4.5 表 発電機を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
(運転停止中のフロントライン系故障時) (1/2)

分類	発電機を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中のフロントライン系故障時	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障

注1：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注2：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注3：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注4：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注5：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注6：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注7：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注8：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注9：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注10：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注11：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注12：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	発電機を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中のフロントライン系故障時	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止

注1：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注2：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注3：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注4：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注5：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注6：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注7：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注8：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注9：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注10：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注11：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止中の冷却材ポンプ停止時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。
注12：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止中の冷却材ポンプ故障時に発生する設計基準事故(設計基準)に該当する手順。

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由		
【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】								
第 1.4.5 表 損傷発生を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機組喪失時) (2/2)								
分類	機組喪失を想定する設計基準事故の発生時	対応設備	整備する手順書	手順の分類	機組喪失を想定する設計基準事故の発生時	整備する手順書		
運転停止中の進行	冷却炉系ポンプ又は冷却炉系ポンプ	電動機冷却水ポンプ ^{a)}	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の低い機組及び機組停断機を停止する運転手順書	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順		
		タービン駆動冷却水ポンプ						
		復水ピット						
		蒸気発生器2次側						
		蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順						
		電動主給水ポンプ						
		蒸気源タンク						
		蒸気発生器補助性冷却炉系ポンプ(電動) ^{b)}						
		復水ピット						
		主家取込ポンプ					機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順
		タービンバイパス弁					機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順
		ポンプ系 ^{c)}					ポンプ系を用いた蒸気発生器2次側のフュードアップ/ブローにより炉心冷却する手順	炉心の低い機組及び機組停断機を停止する運転手順書
送水車	ポンプ系による蒸気発生器2次側の注水の手順	SA対応 ^{d)}						

※1：大阪発電所、大阪事業等実施計画における原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等(概要)
 ※2：ブローアップ手順等により整備する。
 ※3：手順は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 燃料サーキットを駆動するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37号に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (16/22)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の発生時	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の進行	冷却炉系ポンプ又は冷却炉系ポンプ	電動機冷却水ポンプ ^{a)} タービン駆動冷却水ポンプ 復水ピット 蒸気発生器2次側 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 電動主給水ポンプ 蒸気源タンク 蒸気発生器補助性冷却炉系ポンプ(電動) ^{b)} 復水ピット	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	炉心の低い機組及び機組停断機を停止する運転手順書
		主家取込ポンプ	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順
		タービンバイパス弁	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順	機組喪失発生時2次側以上の炉心冷却(注水)の手順
		ポンプ系 ^{c)}	ポンプ系を用いた蒸気発生器2次側のフュードアップ/ブローにより炉心冷却する手順	炉心の低い機組及び機組停断機を停止する運転手順書
		送水車	ポンプ系による蒸気発生器2次側の注水の手順	SA対応 ^{d)}
		燃料補給設備 ^{e)}	燃料補給設備	燃料補給設備

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.4 電源の喪失を想定する手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大型送水ポンプにより炉心を蒸気発生器が供与する。
 ※4：送水車への給水は、2次蒸気源タンク又は3次蒸気源タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37号に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】

第1.4.5表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機組喪失時) (2/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の種類	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	全燃料ポンプ停止又は全燃料ポンプ故障	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ ^a	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の新しい機組及び機組停機設備を停止する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ		
			潜水ポンプ		
			電動主給水ポンプ		
			脱気器タンク		
			蒸気発生器補助給水設計中ポンプ(電動) ^b		
		蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器補助給水設計中ポンプ(電動) ^b	蒸気発生器補助給水設計中ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水の手順	SA ^c
			潜水ポンプ		
			タービン駆動ポンプ		
		圧力バウンダリ低圧時の炉心冷却(注水)	タービン駆動ポンプ	タービン駆動ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	SA ^c
			タービン駆動ポンプ		
			タービン駆動ポンプ		

注1：大阪発電所、重大事故等発生時に引上げ可能な機組の稼働のための稼働に関する手順。
 注2：タービン駆動ポンプ(注水)より記載する。
 注3：手順は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 注4：手順は「1.5 最終ポンプ停止時-熱も輸送するための手順等」にて整備する。
 注5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する電力事故等対応設備 b：当該事故に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(17/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の種類	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	全燃料ポンプ停止又は全燃料ポンプ故障	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ ^a	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の新しい機組及び機組停機設備を停止する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ		
			潜水ポンプ		
蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器補助給水設計中ポンプ(電動) ^b	蒸気発生器補助給水設計中ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水の手順	SA ^c		
				潜水ポンプ	
				タービン駆動ポンプ	
圧力バウンダリ低圧時の炉心冷却(注水)	タービン駆動ポンプ	タービン駆動ポンプによる炉心冷却(注水)の手順	SA ^c		
				タービン駆動ポンプ	
				タービン駆動ポンプ	

注1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 注2：手順は「1.5 最終ポンプ停止時-熱も輸送するための手順等」にて整備する。
 注3：可動型発電機出力ポンプ車により炉心を蒸気発生器へ注水する。
 注4：蒸気発生器は従来のプールのプールのプールの注水時は、注水ポンプラインを使用する。
 注5：蒸気発生器-炉心が停止する場合は蒸気発生器ブローダウンラインにより注水を行う。
 注6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する電力事故等対応設備 b：当該事故に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機組着火を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
(運転停止中のサポート系機組喪失時) (1/2)

Table with columns: 分類, 機組着火を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. Rows include various equipment like 燃料供給用ポンプ, 重水ポンプ, etc.

※1：「大事故発生時」重大事故発生時における原子炉冷却材の確保に関する措置
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：冷却材が常時常電機種の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※4：可動式燃料校正ポンプにより中心注水する場合は機組を発生する。
※5：可動式燃料校正ポンプが燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材の確保のための手順等」にて整備する。
※6：燃料供給に使用する可動式ポンプの注水は、手順は「1.6 原子炉冷却材の確保のための手順等」にて整備する。
※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材の確保のための手順等」にて整備する。
※8：手順は「1.6 燃料校正ポンプ」を転写するための手順等、にて整備する。
※9：重大事故発生時において用いる設備の分類
a：事故発生に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/9)
(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

Table with columns: 分類, 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. Rows include 燃料供給用ポンプ, 重水ポンプ, etc.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※3：手順は「1.15 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解説】1b) 項を満足するための代替系水（配管）
※5：燃料供給系（圧注水モード）は熱交換機に接続しておらず、熱交換機は廃止してのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (18/22)
(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

Table with columns: 分類, 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順の分類. Rows include 燃料供給用ポンプ, 重水ポンプ, etc.

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
※2：重大事故発生時において用いる設備等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順(運転停止中のサポート系機能喪失時)(1/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
全交流動力電源*	燃料制御用ポンプ(重力注水)	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	燃料制御用ポンプ(重力注水)	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備
	蓄電タンク		蓄電タンク	蓄電タンク	
	加圧式炉内注水ポンプ		加圧式炉内注水ポンプ	加圧式炉内注水ポンプ	
	加圧式炉内常時発電機駆動		加圧式炉内常時発電機駆動	加圧式炉内常時発電機駆動	
	加圧式炉内ポンプ(自己循環)		加圧式炉内ポンプ(自己循環)	加圧式炉内ポンプ(自己循環)	
	燃料制御用ポンプ		燃料制御用ポンプ	燃料制御用ポンプ	
	後水ポンプ		後水ポンプ	後水ポンプ	
	燃料制御用ポンプ		燃料制御用ポンプ	燃料制御用ポンプ	
	重油タンク		重油タンク	重油タンク	
	タンクローリー		タンクローリー	タンクローリー	
	加圧式炉内注水ポンプ		加圧式炉内注水ポンプ	加圧式炉内注水ポンプ	
	加圧式炉内注水ポンプ		加圧式炉内注水ポンプ	加圧式炉内注水ポンプ	

対応手段、対処設備、手順書一覧(9/9)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交流動力電源	常設代替交流電源設備	原子炉補機冷却海水系 ②3 事故代替交流電源設備 ②2	非常時操作手順書(プラント停止中) 「断熱熱除去機能喪失」等
	原子炉補機冷却海水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	常設代替交流電源設備	断熱熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 断熱熱除去系熱交換器 原子炉再循環系 原子炉補機冷却海水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	非常時操作手順書(設備別) 「断熱熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

- ①：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。
- ②：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
- ③：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
- ④：「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」【解釈】①b 準を満たすための代替注水(措置)
- ⑤：断熱熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は減圧としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧(19/22)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障	全交流動力電源	常設代替交流電源設備	原子炉補機冷却海水系 ②3 事故代替交流電源設備 ②2	非常時操作手順書(プラント停止中) 「断熱熱除去機能喪失」等	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備
	原子炉補機冷却海水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	常設代替交流電源設備	断熱熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 断熱熱除去系熱交換器 原子炉再循環系 原子炉補機冷却海水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	非常時操作手順書(設備別) 「断熱熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	
	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	可搬型大型注水ポンプ	

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

①：「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」にて整備する。
 ②：「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ③：「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ④：「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」【解釈】①b 準を満たすための代替注水(措置)
 ⑤：断熱熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は減圧としてのみ用いる。

①：可搬型大型注水ポンプにより海水を発電用原子炉へ注水する。
 ②：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ③：断熱熱除去系は、2次冷却水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 ④：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ⑤：c、d、e-断熱熱除去系ポンプによる熱供給手順は「1.7 原子炉補機冷却海水系(原子炉補機冷却海水系)にて整備する。
 ⑥：重大事故等において用いる設備の分類
 *：当該表文に適合する重大事故等対応設備。b：①a条に適合する重大事故等対応設備。c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
(運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

Table with 6 columns: 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design Basis Accident Response Equipment), 対応手段 (Response Method), 整備の必要性 (Necessity of Maintenance), 整備する手順書 (Maintenance Procedure), 手順の分類 (Procedure Classification). Rows include categories like '全交直動力電源喪失' and '原子炉冷却材系'.

※1: 「大飯発電所」重大事故等発生時に用いる原子炉冷却材の保全のための活動に関する所置
※2: 手順は「1.4.6 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。
※3: 設備は「1.4.6 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。
※4: 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
※5: 設備は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
※6: 手順は「1.5 最終ドートシットシグナルを発生するための手順等」にて整備する。
※7: 重大事故等発生時に用いる設備の分類
a: 当該設備に適合する重大事故等対応設備 b: 27 条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

Table with 6 columns: 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design Basis Accident Response Equipment), 対応手段 (Response Method), 対処設備 (Response Equipment), 整備の必要性 (Necessity of Maintenance), 整備する手順書 (Maintenance Procedure), 手順の分類 (Procedure Classification). Rows include categories like '全交直動力電源喪失' and '原子炉冷却材系'.

※1: 手順は「1.4.6 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。
※2: 設備は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
※3: 可搬型大型ポンプ構造により海水を高度発生炉へ注水する。
※4: 重大事故発生時に用いる設備の分類
a: 当該設備に適合する重大事故等対応設備 b: 27 条に適合する重大事故等対応設備 c: 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】
設備の相違 (相違理由①)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.6 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の場合	全炉冷却力喪失時	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却維持	強制循環給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書	
			空冷式非常用発電機 ^{※1}				S A対応 ^{※2}
			タービン駆動給水ポンプ				
			緊急ポンプ				
		蒸気発生機					
		燃料冷却ポンプ ^{※3}	多様な設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書		
		蒸気発生機					
		蒸気発生機					
		蒸気発生機					
		蒸気発生機	多様な設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書		
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機	多様な設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機	多様な設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機	多様な設備	蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書				
蒸気発生機							
蒸気発生機							
蒸気発生機							

※1：大事故発生時、直ぐ事故発生後に行われる炉心冷却のための機能に関する手順。
 ※2：手順は「1.4 蒸気発生機に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.4 発電機に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※6：手順は「1.5 最終冷却ポンプを稼働するための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：運転時に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (21/22)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	全炉冷却力喪失時	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却維持	可搬型大型送水ポンプ ^{※1}	多様な設備	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			可搬型ボイラ・凝結炉		
			炉心冷却材ポンプ		
			蒸気発生機		
運転停止中の場合	全炉冷却力喪失時	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却維持	蒸気発生機	多様な設備	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			蒸気発生機		
			蒸気発生機		
			蒸気発生機		
運転停止中の場合	全炉冷却力喪失時	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却維持	蒸気発生機	多様な設備	炉心の著しい損傷及び燃料容器破損を防止する運転手順書
			蒸気発生機		
			蒸気発生機		
			蒸気発生機		

※1：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：可搬型ボイラ・凝結炉は、2 号機送水ポンプ又は炉心冷却材ポンプから移送することにより行う。
 ※3：手順は「1.4 蒸気発生機に関する手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.5 最終冷却ポンプを稼働するための手順等」にて整備する。
 ※6：可搬型大型送水ポンプは、2 号機送水ポンプから移送することにより行う。
 ※7：蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順は、蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順を使用する。
 ※8：蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順は、蒸気発生機2台(炉心冷却)の運転 (注1) の手順を使用する。
 ※9：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a：運転時に適合する重大事故等対応設備 b：27 条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22） （発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設置分類*1</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">サポート系故障時</td> <td rowspan="4">主交流機 力電源又は原子炉補助冷却水設備</td> <td rowspan="4">電力失失 電力供給停止 原子炉冷却水の供給停止</td> <td>非一重化ポンプ 燃料取扱用ボック 再生熱交換器 非常用印心冷却設備 配管・弁 化学系統冷却設備 配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管 常設内線交流電源設備*1</td> <td>大型設備 冷却設備 配管・弁</td> <td>常設設備の整備時における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>A-安全注入ポンプ 熱源設備再循環ポンプ 熱源設備再循環ポンプシステムポンプ A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口バルブ 無負荷ポンプ ほう無注人タンク 非常用印心冷却設備 配管・弁 非常用印心冷却設備（高圧注入）配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管</td> <td>大型設備 ポンプ 配管・弁</td> <td>常設設備の整備時における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>可動型大型蒸気ポンプ*2 可動型ボイラ 凝縮器 ボイラ延長・回収車（給水線用） 非常用取水設備 常設内線交流電源設備*1 燃料補給設備*1</td> <td>大型設備 ポンプ 配管・弁</td> <td>常設設備の整備時における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> <tr> <td>電動冷却給水ポンプ 補助給水ポンプ 電気駆動ポンプ 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 常設内線交流電源設備*1 常設内線交流電源設備*1</td> <td>大型設備 ポンプ 配管・弁</td> <td>常設設備の整備時における対応手順</td> <td>故障及び設計基準事故に対応する運転手順書</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設置分類*1	整備する手順書	手順の分類	サポート系故障時	主交流機 力電源又は原子炉補助冷却水設備	電力失失 電力供給停止 原子炉冷却水の供給停止	非一重化ポンプ 燃料取扱用ボック 再生熱交換器 非常用印心冷却設備 配管・弁 化学系統冷却設備 配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管 常設内線交流電源設備*1	大型設備 冷却設備 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	A-安全注入ポンプ 熱源設備再循環ポンプ 熱源設備再循環ポンプシステムポンプ A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口バルブ 無負荷ポンプ ほう無注人タンク 非常用印心冷却設備 配管・弁 非常用印心冷却設備（高圧注入）配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	可動型大型蒸気ポンプ*2 可動型ボイラ 凝縮器 ボイラ延長・回収車（給水線用） 非常用取水設備 常設内線交流電源設備*1 燃料補給設備*1	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	電動冷却給水ポンプ 補助給水ポンプ 電気駆動ポンプ 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 常設内線交流電源設備*1 常設内線交流電源設備*1	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設置分類*1	整備する手順書	手順の分類																							
サポート系故障時	主交流機 力電源又は原子炉補助冷却水設備	電力失失 電力供給停止 原子炉冷却水の供給停止	非一重化ポンプ 燃料取扱用ボック 再生熱交換器 非常用印心冷却設備 配管・弁 化学系統冷却設備 配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管 常設内線交流電源設備*1	大型設備 冷却設備 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																							
			A-安全注入ポンプ 熱源設備再循環ポンプ 熱源設備再循環ポンプシステムポンプ A-安全注入ポンプ再循環ポンプ入口バルブ 無負荷ポンプ ほう無注人タンク 非常用印心冷却設備 配管・弁 非常用印心冷却設備（高圧注入）配管・弁 原子炉補助冷却設備（原子炉補助冷却水設備）配管・弁 1次冷却設備 原子炉母管	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																							
			可動型大型蒸気ポンプ*2 可動型ボイラ 凝縮器 ボイラ延長・回収車（給水線用） 非常用取水設備 常設内線交流電源設備*1 燃料補給設備*1	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																							
			電動冷却給水ポンプ 補助給水ポンプ 電気駆動ポンプ 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 常設内線交流電源設備*1 常設内線交流電源設備*1	大型設備 ポンプ 配管・弁	常設設備の整備時における対応手順	故障及び設計基準事故に対応する運転手順書																							
*1：手順は「1.14 電源の供給に関する手順等」にて整備する。 *2：手順は「1.9 最終トレンチ・熱を輸送するための手順等」にて整備する。 *3：C、D→熱源設備再循環ポンプによる熱源設備内自然冷却回路は「1.7 原子炉格納容器の露点検出を防止するための手順等」にて整備する。 *4：重大事故等対応において用いる設備の分類 *：当該表文中に適合する重大事故等対処設備。 R：IT等に適合する重大事故等対処設備。 A：自主的対策として整備する重大事故等対処設備。																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.7 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計
		・ 加圧器水位計
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		・ 高圧注入流量計
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計
		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)
	原子炉格納容器内の水位	・ 燃料取替用水ビット水位計
		・ 復水ビット水位計
水源の確保	・ ほう酸タンク水位計	
	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	
(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計
		・ 原子炉水位計
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		・ 充てん水流量計
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 出力領域中性子束計
		・ 中間領域中性子束計
	未臨界の維持又は監視	・ 中性子源領域中性子束計
		・ 中性子源領域起動率計
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	
	・ 燃料取替用水ビット水位計	
水源の確保	・ 復水ビット水位計	
	・ ほう酸タンク水位計	
	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	

第 1.4-2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧 (1/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書 (復水移送ポンプ) 「水位確保」等	判断基準 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		4-2# 母線電圧 4-2# 母線電圧 125# 直流主母線 2A 電圧 125# 直流主母線 2B 電圧 125# 直流主母線 2A-1 電圧 125# 直流主母線 2B-1 電圧
	電源の確保	復水貯蔵タンク水位
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位
	操作 原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)
	地盤監視機能	復水移送ポンプ出口圧力
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位

第 1.4.2 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度
		・ 1次冷却材圧力 (広域)
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位
		・ 高圧注入流量
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 低圧注入流量
		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位
		・ 1次系純水タンク水位
ほう酸タンク水位	・ ほう酸タンク水位	
	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	
	・ 余熱除去ポンプ電流	
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	
	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	
	・ 1次冷却材圧力 (広域)	
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	
	・ 原子炉容器水位	
原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量	
	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	
	・ 充てんライン圧力	

(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																						
<p>監視計器一覧 (2/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ 燃料取替用水ピット水位計	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧 (2/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電解の確報</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>海水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>海水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電解の確報	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧		水源の確保	海水貯蔵タンク水位		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量		補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力		水源の確保	海水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (2/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B格納容器スプレイ流量 ・ B格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (順用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ B格納容器スプレイ流量 ・ B格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (順用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																									
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																						
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																						
補機監視機能	・ 燃料取替用水ピット水位計	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																							
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																							
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																									
a. 低圧代替注水																																																																																																																									
(b) 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																									
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																							
非常時操作手順書 (設備明) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電解の確報	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																																																							
	水源の確保	海水貯蔵タンク水位																																																																																																																							
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (制御域) 原子炉水位 (広域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																							
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																							
	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																							
	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																							
	水源の確保	海水貯蔵タンク水位																																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																									
(a) B格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																						
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																						
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																						
原子炉压力容器内への注水量	・ B格納容器スプレイ流量 ・ B格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (順用)																																																																																																																								
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																								
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																												
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 代替格納容器スプレィポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B 母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (A用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	(b) 代替格納容器スプレィポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B 母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																													
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																													
(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																												
		未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																											
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
			水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																											
		電源	・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																																																																																																												
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																											
		1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																													
		(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
		a. 低圧代替注水																																																																																																																													
c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																															
非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2B 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																												
		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																													
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																																																															
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレィ流量 ・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (A用)																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																													
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																													
(b) 代替格納容器スプレィポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量																																																																																																																												
		未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																											
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
			水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口圧力																																																																																																																												
		電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B 母線電圧																																																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																															
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子領域起動率計</td> <td>・ 中性子領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (備後ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常時操作手順書 (設備別) 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>原子炉機械冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位</td> <td>代替普通冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (備後ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)	最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位	操作	水源の確保	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉压力容器内の水位	原子炉圧力	原子炉压力容器内の注水量	原子炉圧力 (SA)	格納容器再循環サンプ水位	代替普通冷却ポンプ出口流量	水源の確保	代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子領域起動率</td> <td>・ 中性子領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	(e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	中性子領域起動率	・ 中性子領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																		
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																
	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																
	(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計																																																																																																																															
未臨界の維持又は監視		出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																															
		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																																																															
		中性子領域起動率計	・ 中性子領域起動率計																																																																																																																															
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																
水源の確保		・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																		
a. 低圧代替注水																																																																																																																																		
(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																		
非常時操作手順書 (備後ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																																																
非常時操作手順書 (設備別) 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																															
		電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位																																																																																																																															
操作	水源の確保	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	原子炉圧力																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の注水量	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																
	格納容器再循環サンプ水位	代替普通冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																
	水源の確保	代替普通冷却ポンプ出口圧力 圧力制御室水位																																																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																		
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																																
	(e) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量																																																																																																																															
未臨界の維持又は監視		出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																															
		中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																															
		中性子領域起動率	・ 中性子領域起動率																																																																																																																															
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保 水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	電源の確保 水源の確保	操作	判断基準	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の注水量	電源の確保	水源の確保	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(d) 蓄水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																									
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																									
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																									
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																								
		未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																								
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																									
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																								
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
a. 低圧代替注水																																																																																																											
(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水																																																																																																											
非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 水源の確保																																																																																																									
操作	判断基準	原子炉压力容器内の水位																																																																																																									
		原子炉压力容器内の圧力																																																																																																									
		原子炉压力容器内の注水量																																																																																																									
		電源の確保																																																																																																									
		水源の確保																																																																																																									
		ろ過水タンク水位																																																																																																									
		ろ過水タンク水位																																																																																																									
		ろ過水タンク水位																																																																																																									
		ろ過水タンク水位																																																																																																									
		ろ過水タンク水位																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																									
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																									
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																									
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																								
		未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																								
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (6/61)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">監視計器一覧 (7/61)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未臨界の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)					監視計器一覧 (7/61)			1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)					水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																									
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																								
	監視計器一覧 (7/61)																																																																										
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																										
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																									
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	未臨界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																								
	水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧 (6/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水機</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水機	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (8/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水機	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1" data-bbox="116 459 698 1141"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 561 1998 1088"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）	原子炉格納容器内の水位	・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																								
補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																											
(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								
	操作	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1" data-bbox="116 486 701 1114"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 486 2004 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																						
		補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																					
			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																					
			操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
				原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量																																																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																									
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計 (狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 2 淡水タンク水位計 (CRT) ・体積制御タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計	・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計 (狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 2 淡水タンク水位計 (CRT) ・体積制御タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計			<p>監視計器一覧 (11/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位 (狭域) ・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">操作</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・使用済燃料ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・体積制御タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・ほう酸補給ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸補給ライン流量積算計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水補給ライン流量積算計</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・格納容器水位	最終ヒートシンクの確保	操作	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (広域)	・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位 (狭域) ・補助給水流量計	水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位	・1次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	・使用済燃料ビット水位	・ほう酸タンク水位	・体積制御タンク水位	補機監視機能	操作	・ほう酸補給ライン流量	・ほう酸補給ライン流量積算計	・1次系純水補給ライン流量積算計	・ろ過水タンク水位	補機監視機能	操作	・高圧注入ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																												
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																												
d. 代替再循環運転																																																																																												
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																									
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計																																																																																									
		最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																								
				・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																								
				・主蒸気圧力計																																																																																								
				・蒸気発生器水位計 (狭域) ・蒸気発生器補助給水流量計																																																																																								
		水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計																																																																																								
				・復水ビット水位計																																																																																								
				・ほう酸タンク水位計																																																																																								
・1次系純水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 3 淡水タンク水位計 (CRT) ・N.o. 2 淡水タンク水位計 (CRT) ・体積制御タンク水位計 (CRT)																																																																																												
補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																										
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																												
d. 代替再循環運転																																																																																												
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																									
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																									
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																									
		最終ヒートシンクの確保	操作	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (広域)																																																																																								
				・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																								
				・主蒸気ライン圧力																																																																																								
				・蒸気発生器水位 (狭域) ・補助給水流量計																																																																																								
		水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位																																																																																								
				・1次系純水タンク水位																																																																																								
				・2次系純水タンク水位																																																																																								
				・使用済燃料ビット水位																																																																																								
				・ほう酸タンク水位																																																																																								
				・体積制御タンク水位																																																																																								
補機監視機能	操作	・ほう酸補給ライン流量																																																																																										
		・ほう酸補給ライン流量積算計																																																																																										
		・1次系純水補給ライン流量積算計																																																																																										
		・ろ過水タンク水位																																																																																										
補機監視機能	操作	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																										
		・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・恒設代替低圧注水機算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替伊心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・恒設代替低圧注水機算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (12/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替伊心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量		原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)		操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																											
a. 代替伊心注水																																																																																											
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																																								
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																									
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																										
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																								
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・恒設代替低圧注水機算流量計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																								
		原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																									
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																											
a. 代替伊心注水																																																																																											
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																																								
		電源	・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																									
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)																																																																																									
		操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								
大阪 3 / 4号炉との比較対象なし																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (11 / 48)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替炉心注水積算流量計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）							
		水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計							
補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）								
監視計器一覧 (12 / 48)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計							
		水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
		補機冷却	・B充てんポンプ封水冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計							
監視計器一覧 (13/61)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水										
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度							
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位					
		原子炉圧力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量							
			原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）						
		水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位							
			電源	・消給線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-1A、6、7、8、9、10、11、12母線電圧						
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（加用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（加用）							
			操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度					
				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）					
原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位									
補機冷却	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量								
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）								
水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位									
	・B-充てんポンプ消給線及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧（13/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能	・ 充てん水圧力計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧 (14/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) B-格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (BHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 機志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレィ流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (加用)</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) B-格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (BHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	電源	・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 機志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 充てんライン圧力		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉容器水位	・ B-格納容器スプレィ流量	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (加用)	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量	補機冷却	・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量	・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量	<p>相違理由</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																	
(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計																																																																															
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																															
	補機監視機能	・ 充てん水圧力計																																																																															
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																															
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																														
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																	
(e) B-格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (BHR-S-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																															
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																															
	電源	・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 機志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																															
	補機監視機能		・ 充てんライン圧力																																																																														
			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																														
			・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用)																																																																														
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																															
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																															
		・ 炉心出口温度																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																															
		・ 加圧器水位																																																																															
	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉容器水位																																																																															
		・ B-格納容器スプレィ流量																																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (加用)																																																																															
		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																															
・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																	
補機冷却	・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																
	・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量																																																																																
<p>監視計器一覧（14/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td></td> <td>・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	補機冷却		・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計		・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																	
(d) A格納容器スプレィポンプ (自己冷却) (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																															
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																															
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																															
	補機冷却		・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計																																																																														
			・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧(15/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b(c)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)	電源	・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)		操作	1.4.2.1(1)b(c)と同様。			<p>監視計器一覧(15/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(d) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動機駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位 ・ 消幹線1L, 2L電圧 ・ 後志幹線1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量(AMU)</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b, c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動機駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)	電源	水源の確保	・ ろ過水タンク水位 ・ 消幹線1L, 2L電圧 ・ 後志幹線1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	原子炉補機冷却水供給母管流量(AMU)	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)	操作	1.4.2.1(1)b, c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																
(e) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																													
	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																														
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																														
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																														
	電源	・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																																														
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																														
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b(c)と同様。																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																
(d) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動機駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度																																																													
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																													
		原子炉压力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AMU)																																																													
		原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																													
	電源	水源の確保	・ ろ過水タンク水位 ・ 消幹線1L, 2L電圧 ・ 後志幹線1L, 2L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																													
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																												
			原子炉補機冷却水供給母管流量(AMU)	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																												
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AMU)																																																												
		操作	1.4.2.1(1)b, c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																			
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="7" style="width: 15%; text-align: center;">⑩ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="7" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(c)(g)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	⑩ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	1.4.2.1(c)(g)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td>泊幹線 1L、2L 電圧</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AMU） </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b、(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	電源	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 	泊幹線 1L、2L 電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AMU） 	操作	1.4.2.1(1)b、(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	電源	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 	操作	1.4.2.1(1)b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p>
⑩ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																	
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																																	
				原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 																																																																	
				原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 																																																																	
				原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 																																																																	
				電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 																																																																	
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																																				
操作	1.4.2.1(c)(g)と同様。																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																						
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																						
a. 代替炉心注水																																																																						
(e) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） ・ 炉心出口温度 																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																			
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																			
	電源	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 																																																																			
		泊幹線 1L、2L 電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																																			
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AMU） 																																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b、(d)「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																				
	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高側側） ・ 1次冷却材温度（広域-低側側） 																																																																		
			原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																		
原子炉圧力容器内の水位			<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																																																																			
電源		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） 																																																																			
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 																																																																			
		操作	1.4.2.1(1)b、(e)「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (17/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替冷却注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判別基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替冷却注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内への注水量	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																								
(2) サポート系故障時の対応手順																								
a. 代替冷却注水																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度																						
		原子炉圧力容器内の圧力																						
	操作	原子炉圧力容器内の水位																						
		原子炉圧力容器内への注水量																						
		原子炉格納容器内の水位																						
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機軸喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機軸喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母線1L、2L電圧 ・ 機軸母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）	電源	・ 母線1L、2L電圧 ・ 機軸母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機軸喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）																																																																				
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																				
	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																				
		原子炉压力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）																																																																				
補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																						
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）																																																																				
		電源	・ 母線1L、2L電圧 ・ 機軸母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 母線A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																				
	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																				
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）																																																																				
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																						
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p>監視計器一覧〔17/48〕</p> <table border="1" data-bbox="116 478 701 1120"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 478 349 550">対応手段</th> <th data-bbox="349 478 477 550">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 478 701 550">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 550 701 574">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 574 701 598">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 598 701 622">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 622 701 646">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 646 318 1120" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="318 646 477 710" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="477 646 701 670">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 670 701 694">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 710 477 734"></td> <td data-bbox="477 710 701 734">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 734 477 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="477 734 701 758">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 758 477 782">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="477 758 701 782">・加圧喪失位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 782 477 845">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="477 782 701 845">・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 845 477 1029">補機監視機能</td> <td data-bbox="477 845 701 901">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 1029 477 1053">補機冷却</td> <td data-bbox="477 1029 701 1053">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 1053 477 1120" rowspan="2">操作</td> <td data-bbox="477 1053 701 1077">・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1077 701 1120">・A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="318 1029 701 1120">空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）		・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失位計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	・A余熱除去ポンプ冷却水流量計	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																								
b. 代替再循環運転																																								
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																								
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																						
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																						
		・炉心出口温度計																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失位計																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																						
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																						
補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																							
操作	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計																																							
	・A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																							
空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器内循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) b. 6) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 放射熱シンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンプ水位（広域）	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(2) b. 6) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 放射熱シンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																									
ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		原子炉格納容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																						
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																						
		補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																							
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																									
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンプ水位（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																						
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																						
		補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																						
	操作	1.4.2.1(2) b. 6) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 放射熱シンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	判断基準	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	圧力制御室水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替排水ヒート水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) a, b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	操作	—	d. 復旧			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	補機監視機能	水源の確保	・ 燃料取替排水ヒート水位	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	操作	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(2) a, b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																			
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																	
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																	
判断基準	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																	
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																	
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																	
	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																	
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																																			
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																	
	操作	—																																																																	
d. 復旧																																																																			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																	
電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																	
補機監視機能	水源の確保	・ 燃料取替排水ヒート水位																																																																	
	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																	
操作	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)																																																																	
	操作	1.4.2.1(2) a, b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	
<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	判断基準	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧	水源の確保	圧力制御室水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量		補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b, c) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の圧力	・ A-格納容器再循環サンプル水位 (広域)	補機冷却	水源の確保	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	電源	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(2) b, c) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																			
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																	
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																	
判断基準	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																	
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																	
	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																	
	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																	
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																																			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																	
電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ A-格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																	
補機冷却	水源の確保	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																	
	電源	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却器水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)																																																																	
操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却器水流量 (AM用)																																																																	
	操作	1.4.2.1(2) b, c) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																													
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	操作	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計	格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。		格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。		<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源の確保</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水戻の確保</td> <td>格納容器内常態気水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> </tr> <tr> <td>水戻の確保</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	電源の確保	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器内の水素濃度	水戻の確保	格納容器内常態気水素濃度	格納容器内水素濃度 (D/W)	操作	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量)	残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量	格納監視機能	水戻の確保	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却 </td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素			(a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	操作	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位	手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																																
(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																													
	操作	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																													
	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計																																																																																													
		格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。																																																																																														
		格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																														
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																														
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																																
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位																																																																																														
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																														
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																														
電源の確保		原子炉格納容器下部温度																																																																																														
		原子炉格納容器内の温度																																																																																														
		原子炉格納容器内の水素濃度																																																																																														
水戻の確保		格納容器内常態気水素濃度																																																																																														
		格納容器内水素濃度 (D/W)																																																																																														
操作		原子炉水位 (狭帯域)																																																																																														
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																														
	原子炉水位 (燃料域)																																																																																															
	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																															
	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																															
	原子炉圧力																																																																																															
	原子炉圧力 (SA)																																																																																															
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量)																																																																																															
	残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																															
	格納監視機能																																																																																															
水戻の確保																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水素																																																																																																
(a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																													
		最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																																																													
	操作	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																													
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																													
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																													
手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧 (20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計
	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		水源の確保	・ 余熱除去流量計
		補機監視機能	・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
		最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度計
	操作	電源	・ 蒸気発生器水位計 (広域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)
		補機監視機能	・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計 ・ 脱気器タンク水位計 (CRT)

監視計器一覧 (9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 抵抗代替注水		
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウエル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウエル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)
	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	水源の確保	圧力制御室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源の確保	圧力制御室水位

監視計器一覧 (23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度
	補機監視機能	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		水源の確保	・ 低圧注入流量
		補機監視機能	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)
		最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度
	電源	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)
		補機監視機能	・ 蒸気発生器水位 (狭域)
操作	電源	・ 補助給水流量 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後巻線機 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	
	操作	—	

— 通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																									
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流置計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流置計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (10/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却</td> <td></td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）	電源の確保	4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (24/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対処手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）		<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） ・炉心出口温度 	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ピット水位 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																																								
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流置計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） 																																																																								
	水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																										
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																										
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																										
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 ドライウェル圧力																																																																										
判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																										
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）																																																																										
	電源の確保	4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧																																																																										
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																										
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																										
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																										
水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																											
対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）		<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） ・炉心出口温度 																																																																										
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 																																																																										
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水ピット水位 																																																																										
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。 																																																																										
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																											
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域～高温側） ・1次冷却材温度（広域～低温側） 																																																																										
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																																																										
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																											
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																											
	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由			
監視計器一覧 (21/48)			監視計器一覧 (11/20)			監視計器一覧 (25/61)						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 蒸気発生器2次側からの熱熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)						
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度				
		原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (広帯域)		原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (広域)		
		原子炉圧力容器内への注水量		原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	低圧注入流量		
		最終ヒートシンクの確保		蒸気発生器水位計 (広域)	蒸気発生器水位計 (狭域)		蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量
				蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)		蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	補助給水流量	補助給水流量	蒸気発生器水張り流量
				蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)		蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量	蒸気発生器水張り流量	蒸気発生器水張り流量
	補機監視機能	余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力計	余熱除去ポンプ吐出圧力	余熱除去ポンプ吐出圧力	余熱除去ポンプ吐出圧力			
	操作	—	—	—	—	—	—	—	—			
	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度			
			原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (広帯域)		原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (広域)	
			原子炉圧力容器内への注水量		原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	主蒸気ライン圧力	
			最終ヒートシンクの確保		主蒸気圧力計	蒸気発生器水位計 (広域)		蒸気発生器水位計 (狭域)	蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)
			主蒸気圧力計		蒸気発生器水位計 (広域)	蒸気発生器水位計 (狭域)		蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量
			蒸気発生器水位計 (広域)		蒸気発生器水位計 (狭域)	蒸気発生器補助給水流量計		蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水位 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量
補機監視機能		ろ過水ポンプ吐出圧力計	ろ過水ポンプ吐出圧力計	ろ過水ポンプ吐出圧力計	ろ過水ポンプ吐出圧力計	ろ過水ポンプ吐出圧力計	ろ過水ポンプ吐出圧力	ろ過水ポンプ吐出圧力	ろ過水ポンプ吐出圧力			
電源		4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧	4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧			
操作		—	—	—	—	—	—	—	—			

—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 587 703 1015"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 619 2002 1002"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内への注水量	・低圧注入流量	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																
		原子炉压力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域）																																																
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																			
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																
		原子炉压力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧 (23/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）		
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計
水源の確保	・ 復水ピット水位計	
電源	補機監視機能	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）
操作	1.4.2.2(1a.(a))と同様。	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧 (27/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）	
		・ 1次冷却材温度（広域～低温側）	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	
	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	
	電源	補機監視機能	・ 炉幹線1L、2L電圧
			・ 後志幹線1L、2L電圧
			・ 甲母線電圧、乙母線電圧
			・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧
操作	1.4.2.2(1) a. (b) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	
		・ 余熱除去ポンプ電流	
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）	
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量（加用）	

監視計器一覧 (28/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）	
		・ 1次冷却材温度（広域～低温側）	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	
	水源の確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	
	電源	補機監視機能	・ 補助給水流量
			・ 補助給水ピット水位
			・ 炉幹線1L、2L電圧
			・ 後志幹線1L、2L電圧
操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（加用）	
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量（加用）	

【大阪】
 設備の相違
 （相違理由④）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 75%;"> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位計(広域) ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 水源の確保 ・ 復水ピット水位計 電源 ・ 4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT) </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位計(広域) ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 水源の確保 ・ 復水ピット水位計 電源 ・ 4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		泊3号炉との比較対象なし			泊3号炉との比較対象なし						<p style="text-align: center;">女川原子力発電所2号炉</p>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(29/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水		判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉压力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力計 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位計(広域) ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 水源の確保 ・ 復水ピット水位計 電源 ・ 4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 補機監視機能 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																					
		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																					
		泊3号炉との比較対象なし																																						
		泊3号炉との比較対象なし																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																								
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度(広域-高範囲) ・ 1次冷却材温度(広域-低範囲) 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧 (24/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (30/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 直轉機 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 最終轉機 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	・ 補助給水流量	電源	・ 直轉機 1 L, 2 L 電圧	・ 最終轉機 1 L, 2 L 電圧	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)	操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																													
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																																													
(a) 主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																											
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																											
		・ 炉心出口温度計																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																																											
		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																											
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																											
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																											
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																											
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																													
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁 (現場手動操作) による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																													
b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																																													
(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)																																																																											
		・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)																																																																											
		・ 炉心出口温度																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																											
		・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																											
		・ 補助給水流量																																																																											
	電源	・ 直轉機 1 L, 2 L 電圧																																																																											
		・ 最終轉機 1 L, 2 L 電圧																																																																											
補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																												
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																												
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (M用)																																																																												
操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)																																																																												
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (M用)																																																																												
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																															
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 炉幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ 出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (4用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量	電源	・ 炉幹線1L、2L電圧	・ 機志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ 出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (4用)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合																																																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																		
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																
		・ 炉心出口温度計																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順																																																																		
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																		
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																
		・ 炉心出口温度																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量																																																																
	電源	・ 炉幹線1L、2L電圧																																																																
		・ 機志幹線1L、2L電圧																																																																
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ 出口圧力																																																																	
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AM用)																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (4用)																																																																	
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<div data-bbox="203 756 613 799" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" data-bbox="1379 533 2002 1091"> <thead> <tr> <th data-bbox="1379 533 1664 576">対応手段</th> <th data-bbox="1664 533 1778 576">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1778 533 2002 576">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1379 576 2002 624">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (a) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 624 1626 1091" rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td data-bbox="1626 624 1664 751" rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判別基準</td> <td data-bbox="1664 624 1778 671">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1778 624 2002 671"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 671 1778 719">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1778 671 2002 719"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 719 1778 767">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="1778 719 2002 767"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 767 1778 815">原子炉压力容器内の注水量</td> <td data-bbox="1778 767 2002 815"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 815 1664 863" rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td data-bbox="1664 815 1778 863">前巻線1L, 2L電圧</td> <td data-bbox="1778 815 2002 863"> ・ 前巻線1L, 2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 863 1778 911">後巻線1L, 2L電圧</td> <td data-bbox="1778 863 2002 911"> ・ 後巻線1L, 2L電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 911 1778 959">甲母線電圧, 乙母線電圧</td> <td data-bbox="1778 911 2002 959"> ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 959 1778 1007">6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧</td> <td data-bbox="1778 959 2002 1007"> ・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1007 1664 1054" rowspan="4" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td data-bbox="1664 1007 1778 1054">余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td data-bbox="1778 1007 2002 1054"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 1054 1778 1102">余熱除去ポンプ電流</td> <td data-bbox="1778 1054 2002 1102"> ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 1102 1778 1150">原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td data-bbox="1778 1102 2002 1150"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 1150 1778 1198">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)</td> <td data-bbox="1778 1150 2002 1198"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1198 1664 1246" rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td data-bbox="1664 1198 1778 1246">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)</td> <td data-bbox="1778 1198 2002 1246"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 1246 1778 1294">補助給水ピット水位</td> <td data-bbox="1778 1246 2002 1294"> ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1294 1664 1342" style="vertical-align: middle;">機作</td> <td data-bbox="1664 1294 1778 1342">1.4.2.2 (1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> <td data-bbox="1778 1294 2002 1342"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (a) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判別基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	電源	前巻線1L, 2L電圧	・ 前巻線1L, 2L電圧	後巻線1L, 2L電圧	・ 後巻線1L, 2L電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流	・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	水源の確保	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	補助給水ピット水位	・ 補助給水ピット水位	機作	1.4.2.2 (1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (a) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																													
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判別基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																										
	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																											
	電源	前巻線1L, 2L電圧	・ 前巻線1L, 2L電圧																																										
		後巻線1L, 2L電圧	・ 後巻線1L, 2L電圧																																										
		甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																										
		6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧																																										
	補機監視機能	余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																										
		余熱除去ポンプ電流	・ 余熱除去ポンプ電流																																										
		原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																										
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)																																										
	水源の確保	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量 (AMH)																																										
		補助給水ピット水位	・ 補助給水ピット水位																																										
機作	1.4.2.2 (1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																													
<p>監視計器一覧 (26/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未境界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 余熱除去流量計	・ 燃料取替用水ビット水位計	・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	未境界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (12/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td>原子炉注圧力 原子炉注圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>補機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	復水貯蔵タンク水位	水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	原子炉压力容器内の圧力	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	原子炉注圧力 原子炉注圧力 (SA)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量	水源の確保	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力	水源の確保	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (33/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																
a. 炉心注水																																																																																																																
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																														
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																														
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																														
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																														
	水源の確保	・ 余熱除去流量計																																																																																																														
		・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																														
		・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																														
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																														
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																													
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																													
原子炉压力容器内の注水量		・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																														
未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																													
			手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																											
			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																
a. 低圧代替注水																																																																																																																
(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																														
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」																																																																																																																
電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																														
		復水貯蔵タンク水位																																																																																																														
水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力																																																																																																														
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	原子炉注圧力 原子炉注圧力 (SA)																																																																																																														
		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																														
水源の確保	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力																																																																																																														
水源の確保	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																
a. 炉心注水																																																																																																																
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																														
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																														
	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																														
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																														
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																													
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																													
	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																													
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量																																																																																																													
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																													
			補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																							
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> (c) 蓄圧タンクによる炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> (d) 蓄圧タンクによる炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 充てん水流量計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 余熱除去流量計	(d) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 低圧代替注水 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順熱除去機能喪失」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) 低圧代替注水 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)		操作	原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)			原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 充てんライン圧力 ・ 補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> (c) 蓄圧タンクによる炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保	・ 充てんライン圧力 ・ 補機監視機能	補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保	・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 補機監視機能	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																										
a. 炉心注水																																																																																																																																										
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																							
		水源の確保	・ 充てん水流量計																																																																																																																																							
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																							
		水源の確保	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																							
(d) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																							
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																																							
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																								
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																										
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																										
a. 低圧代替注水																																																																																																																																										
(b) 低圧代替注水 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																										
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順熱除去機能喪失」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																																																																								
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																								
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																								
	操作	原子炉水位 (供帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水運用)																																																																																																																																								
		原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																																								
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																										
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																										
a. 炉心注水																																																																																																																																										
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																							
		水源の確保	・ 充てんライン圧力 ・ 補機監視機能																																																																																																																																							
		補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																							
		水源の確保	・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 補機監視機能																																																																																																																																							
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																							
<p>大阪 3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																															
<p>監視計器一覧 (28/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(b)(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位計	1.4.2.1(b)(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (14/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>電線の確保</td> <td>原子炉補給冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉压力容器内の水位	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	電線の確保	原子炉補給冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)	最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位	水源の確保		操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力制御室水位				<p>監視計器一覧 (35/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(b)、(c)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	1.4.2.1(b)、(c)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																		
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																															
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																															
(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)																																																																																																																																															
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																															
		1.4.2.1(b)(a)と同様。																																																																																																																																																
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																														
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																
		(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																		
(c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																																		
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)																																																																																																																																																
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」		原子炉压力容器内の水位	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																															
		電線の確保	原子炉補給冷却水系系統流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																																															
		最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位																																																																																																																																															
		水源の確保																																																																																																																																																
操作		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																															
		原子炉压力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																															
		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
		水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																		
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																															
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																															
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																															
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
	操作	1.4.2.1(b)、(c)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (29/48)			監視計器一覧 (15/20)			監視計器一覧 (36/61)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (b) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水				
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度 (広域-高温側)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。
		原子炉圧力容器内の圧力			原子炉水位 (広帯域)			原子炉圧力容器内の温度 (広域-低温側)		
		原子炉圧力容器内の水位			原子炉水位 (燃料域)			炉心出口温度		
		原子炉圧力容器内の注水量			原子炉水位 (SA広帯域)			1次冷却材圧力 (広域)		
		水源の確保			原子炉水位 (燃料域)			加圧器水位		
		水源の確保			原子炉水位 (停止域)			1次冷却系統水位計 (CRT)		
(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (定積時水運用)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度 (広域-高温側)	操作	1.4.2.1(1)b.(c)「電動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。
		原子炉圧力容器内の圧力			4-2C 母線電圧			原子炉圧力容器内の温度 (広域-低温側)		
		原子炉圧力容器内の水位			4-2D 母線電圧			炉心出口温度		
		原子炉圧力容器内の注水量			125V 直流主母線 2A 電圧			1次冷却材圧力 (広域)		
		水源の確保			125V 直流主母線 2B-1 電圧			加圧器水位		
		水源の確保			ろ過水タンク水位			1次冷却系統ループ水位		
			電源の確保 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧							
			水源の確保 ろ過水タンク水位							
			原子炉圧力容器への注水量 残留熱除去系ヘッドスプレイルイン洗浄流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)							
			挿機監視機能 ろ過水ポンプ出口圧力							
			水源の確保 ろ過水タンク水位							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="112 375 705 790"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d),(e)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	操作	1.4.2.1(d),(e)と同様。		<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="750 502 1355 1069"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)	非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	補機監視機能	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)	補機監視機能	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度		<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1388 454 2004 1165"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (e) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																									
	操作	1.4.2.1(d),(e)と同様。																																																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																									
1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																											
(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																											
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																									
補機監視機能	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張り)																																																																																																									
補機監視機能	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																									
補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																																																											
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																									
	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																									
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																								
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																									
	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																									
	(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																							
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																								
原子炉圧力容器内への注水量		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																									
操作		1.4.2.1(d) b. (e) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧（31/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（32/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.1(d)(a)と同様。			<p>監視計器一覧（38/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取扱用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(1) e. (b) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) d. (b) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	1.4.2.1(1) e. (b) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。		d. 代替再循環運転		(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	操作	1.4.2.1(1) d. (b) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
c. 再循環運転																																																																																																																							
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																				
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																				
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
d. 代替再循環運転																																																																																																																							
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																				
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(d)(a)と同様。																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
e. 再循環運転																																																																																																																							
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																				
	操作	水源の確保	・ 燃料取扱用水ピット水位																																																																																																																				
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																				
		1.4.2.1(1) e. (b) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																					
		d. 代替再循環運転																																																																																																																					
		(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																		
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																						
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																						
原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																						
原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																						
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																																																																						
操作	1.4.2.1(1) d. (b) 「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧 (33/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	電源	・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)	操作	—		<p>監視計器一覧 (39/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ピット水位	補機監視機能	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量	電源	電源	・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																				
	操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																				
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																				
		—	—																																																																																				
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																				
	電源	電源	・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																				
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)																																																																																				
		操作	—																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ピット水位																																																																																				
	補機監視機能	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																				
		操作	—																																																																																				
		—	—																																																																																				
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量																																																																																				
	電源	電源	・ 消幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																				
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																				
		操作	—																																																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 運転停止中の場合		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等		
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)		
(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ (電動) による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		原子炉圧力容器内の圧力
操作	重大事故等の対応に必要な監視項目	最終ヒートシンクの確保
		水源の確保
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧 (40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合		
(1) フロントライン系故障時の対応手順		
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却 (注水)		
(e) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		原子炉圧力容器内の圧力
操作	重大事故等の対応に必要な監視項目	最終ヒートシンクの確保
		水源の確保
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		最終ヒートシンクの確保
操作	重大事故等の対応に必要な監視項目	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		最終ヒートシンクの確保
操作	重大事故等の対応に必要な監視項目	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		最終ヒートシンクの確保
操作	重大事故等の対応に必要な監視項目	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1" data-bbox="116 279 701 707"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対応手段</th> <th rowspan="2">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th colspan="2">監視計器</th> </tr> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1" data-bbox="116 818 701 1342"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		判断基準	操作	(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	-	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	-	-	-	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	電源	・復水器真空度計（広域）	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	-	-	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(41/61)</p> <table border="1" data-bbox="1382 400 2002 1230"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td>・泊幹線 1L、2L電圧 ・船志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量	・主給水ライン流量	補機監視機能	・蒸気発生器水張り流量	・余熱除去ポンプ出口圧力	操作	-	-	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量	・主給水ライン流量	・蒸気発生器水張り流量	電源	・復水器真空（広域）	・泊幹線 1L、2L電圧 ・船志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧	操作	-	-		
対応手段			重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
	判断基準	操作																																																																																																	
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	-																																																																																																
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																	
		・炉心出口温度計																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																																																	
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																	
水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																		
操作	-	-	-																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																																			
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																	
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																	
		・炉心出口温度計																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計																																																																																																	
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																	
		・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																	
		・蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																	
		・蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																	
		・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																	
電源	・復水器真空度計（広域）																																																																																																		
	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																		
操作	-	-																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																																																			
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																	
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																	
		・炉心出口温度																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																	
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																																																																	
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）																																																																																																	
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																	
		・補助給水流量																																																																																																	
		・主給水ライン流量																																																																																																	
	補機監視機能	・蒸気発生器水張り流量																																																																																																	
・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																			
操作	-	-																																																																																																	
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																	
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																	
		・炉心出口温度																																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																	
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力																																																																																																	
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																																																	
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																	
		・補助給水流量																																																																																																	
		・主給水ライン流量																																																																																																	
		・蒸気発生器水張り流量																																																																																																	
電源	・復水器真空（広域）																																																																																																		
	・泊幹線 1L、2L電圧 ・船志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧																																																																																																		
操作	-	-																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<div data-bbox="107 582 705 625" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</div> <table border="1" data-bbox="116 662 698 976"> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> <td></td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。					<div data-bbox="1370 582 1556 609" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">監視計器一覧(42/61)</div> <table border="1" data-bbox="1370 614 2004 1002"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (i) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (i) フロントライン系故障時の対応手順			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																				
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																				
		原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																					
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） 																																					
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																						
「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (i) フロントライン系故障時の対応手順																																									
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧注入流量 																																						
	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																						
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 																																						
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (43/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊幹線1L, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMID)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMID)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) b, b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)	・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 泊幹線1L, 2L電圧	・ 後志幹線1L, 2L電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMID)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMID)	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.1(1) b, b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<div data-bbox="2022 751 2168 804" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】運用の相違 (相違理由⑤)</div>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																										
(2) サポート系故障時の対応手順																																										
a. 代替炉心注水																																										
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高範囲)																																								
		・ 1次冷却材温度 (広域-低範囲)																																								
		・ 炉心出口温度																																								
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																								
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																								
	電源	・ 泊幹線1L, 2L電圧																																								
		・ 後志幹線1L, 2L電圧																																								
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																								
		・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																								
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMID)																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AMID)																																								
	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																								
・ 余熱除去ポンプ電流																																										
・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																										
操作	1.4.2.1(1) b, b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																														
<p>監視計器一覧 (36/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計		<p>監視計器一覧 (44/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																	
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																														
	操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																	
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																	
(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																														
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																														
操作	1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																															
<p>監視計器一覧（37/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 497 712 1102"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 497 347 571">対応手段</th> <th data-bbox="347 497 474 571">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="474 497 712 571">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 571 712 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 712 625">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 625 712 652">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 652 313 1037" rowspan="7"> (b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水 </td> <td data-bbox="313 652 347 1037" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="347 652 474 726">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="474 652 712 726"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 726 474 774">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="474 726 712 774">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 774 474 821">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="474 774 712 821">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 821 474 853">水源の確保</td> <td data-bbox="474 821 712 853">・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 853 474 901">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="474 853 712 901">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 901 474 949">電源</td> <td data-bbox="474 901 712 949">・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 949 474 1037">補機監視機能</td> <td data-bbox="474 949 712 1037"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 1037 313 1102">操作</td> <td data-bbox="313 1037 347 1102"></td> <td data-bbox="347 1037 712 1102">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作		1.4.2.3(1)a.(c)と同様。		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center; background-color: yellow;">【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																
1.4.2.3 運転停止中の場合																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																		
a. 代替炉心注水																																		
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																															
		原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																															
		水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）																															
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																															
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																															
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																															
操作		1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																	
<p>監視計器一覧（38 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)(b)(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・恒設代替低圧注水積算流量計 ・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)(a)(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）		・1次冷却材低温側温度計（広域）		原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計		・1次冷却系統水位計（CRT）		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(1)(b)(b)と同様。		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	水源の確保	・恒設代替低圧注水積算流量計 ・燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(2)(a)(b)と同様。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																				
a. 代替炉心注水																																																																				
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																	
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																	
	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																		
		・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																		
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																		
・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																				
操作	1.4.2.1(1)(b)(b)と同様。																																																																			
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																		
	原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																		
	水源の確保	・恒設代替低圧注水積算流量計 ・燃料取替用水ビット水位計																																																																		
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																		
		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
	操作	1.4.2.1(2)(a)(b)と同様。																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (39/48)						監視計器一覧 (45/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水					
(e) B充てんポンプ (自己冷却) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	・1次冷却材低温側温度計 (広域)	・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)	・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)			
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	・1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	・恒設代替低圧注水種差流量計			原子炉圧力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・燃料取替用水ビット水位		
		水源の確保	・復水ビット水位計				水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
		電源	・4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計				電源	・6-A, B, C1, C2, D母線電圧			
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)			補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)	・充てんライン圧力
		操作	1.4.2.1(2)a.(e)と同様。				操作	1.4.2.1(2) a. (e) 「B-充てんポンプ (自己冷却) (BWRS-CSS) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			
監視計器一覧 (40/48)						監視計器一覧 (40/48)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水					
(d) A格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域)	・1次冷却材低温側温度計 (広域)	・炉心出口温度計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側)	・1次冷却材温度 (広域-低温側)	・炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)			
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	・1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計				原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量			
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計				水源の確保	・燃料取替用水ビット水位			
		電源	・4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計				電源	・泊幹線 1L, 2L電圧	・後志幹線 1L, 2L電圧	・甲母線電圧, 乙母線電圧	
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)			補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)	
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。				操作	1.4.2.1(2) a. (d) 「B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHS-CSS) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（41/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 533 353 579">対応手段</th> <th data-bbox="353 533 479 579">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 533 701 579">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="116 579 353 625">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> <td data-bbox="353 579 479 625"></td> <td data-bbox="479 579 701 625"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 625 353 1074" rowspan="7">(g) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="353 625 479 699">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 625 701 699"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 699 479 745">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 699 701 745">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 745 479 791">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 745 701 791"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 791 479 837">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 791 701 837">・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 837 479 884">水源の確保</td> <td data-bbox="479 837 701 884">・ N o. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 884 479 930">電源</td> <td data-bbox="479 884 701 930">・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 930 479 1074">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 930 701 1074"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 1074 479 1104">操作</td> <td data-bbox="479 1074 701 1104">1.4.2.1(1)b.(c)と同様。</td> <td data-bbox="479 1074 701 1104"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ N o. 2淡水タンク水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(1)b.(c)と同様。			<p>監視計器一覧（46/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1391 512 1675 558">対応手段</th> <th data-bbox="1675 512 1783 558">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1783 512 2013 558">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1391 558 1675 604">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> <td data-bbox="1675 558 1783 604"></td> <td data-bbox="1783 558 2013 604"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1391 604 1675 1074" rowspan="10">(e) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td data-bbox="1675 604 1783 667">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1783 604 2013 667"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 667 1783 713">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1783 667 2013 713">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 713 1783 759">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1783 713 2013 759"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 759 1783 805">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1783 759 2013 805"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 805 1783 852">電源</td> <td data-bbox="1783 805 2013 852"> ・ 泊幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 852 1783 1026">補機監視機能</td> <td data-bbox="1783 852 2013 1026"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AMU） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 1026 1783 1074">水源の確保</td> <td data-bbox="1783 1026 2013 1074">・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1675 1074 1783 1104">操作</td> <td data-bbox="1783 1074 2013 1104">1.4.2.1(1) b. (c) 「電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td data-bbox="1783 1074 2013 1104"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU）	電源	・ 泊幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AMU）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																			
(g) ディーゼル消防ポンプ又は電動消防ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																	
	水源の確保	・ N o. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																	
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																	
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT）																																																	
操作	1.4.2.1(1)b.(c)と同様。																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																			
(e) ディーゼル駆動消防ポンプ又は電動駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																	
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AMU）																																																	
	電源	・ 泊幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 機志幹線 1 L, 2 L電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C1, C2, D母線電圧																																																	
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AMU） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AMU）																																																	
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																	
	操作	1.4.2.1(1) b. (c) 「電動駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center; color: blue; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">(b) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 		操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（47/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系統臨時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) b.(d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) b.(e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系統臨時の対応手順 a. 代替炉心注水			(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 		操作	1.4.2.1(1) b.(d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 		操作	1.4.2.1(1) b.(e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(b) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水		判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																													
			原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																													
			原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 																																																													
			原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 																																																													
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																														
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																															
	操作	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系統臨時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																	
(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 																																																														
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																														
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 																																																														
		操作	1.4.2.1(1) b.(d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																														
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																																																														
電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																															
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 																																																														
	操作	1.4.2.1(1) b.(e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																															

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 639 2004 983"> <thead> <tr> <th data-bbox="1379 639 1664 683">対応手段</th> <th data-bbox="1664 639 1771 683">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 639 2004 683">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1379 683 2004 730"> 1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 730 1626 842" rowspan="2"> (b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 </td> <td data-bbox="1626 730 1664 842" rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td data-bbox="1664 730 1771 778"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="1771 730 2004 778"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 778 1771 842"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="1771 778 2004 842"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 842 1626 983"></td> <td data-bbox="1626 842 1664 983" rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td data-bbox="1664 842 1771 890"> 原子炉圧力容器内の注水量 </td> <td data-bbox="1771 842 2004 890"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 890 1626 983"></td> <td data-bbox="1664 890 1771 983"> 1.4.2.1(1) b、(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。 </td> <td data-bbox="1771 890 2004 983"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水			(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 		操作	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ流量 		1.4.2.1(1) b、(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替心注水																						
(b) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） 																			
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																			
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ流量 																			
		1.4.2.1(1) b、(f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 528 349 600">対応手段</th> <th data-bbox="349 528 477 600">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 528 701 600">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 600 701 695"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 695 315 1078" rowspan="6"> i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="315 695 349 831" rowspan="6"> 判断基準 </td> <td data-bbox="349 695 477 767"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="477 695 701 767"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 767 477 807"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="477 767 701 807"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 807 477 847"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="477 807 701 847"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 847 477 887"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="477 847 701 887"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 887 477 927"> 電源 </td> <td data-bbox="477 887 701 927"> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 927 477 1078"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="477 927 701 1078"> <ul style="list-style-type: none"> ・B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・B高圧注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1078 349 1110"> 操作 </td> <td data-bbox="349 1078 701 1110"> 1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・B高圧注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1382 512 1664 560">対応手段</th> <th data-bbox="1664 512 1771 560">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 512 2000 560">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1382 560 2000 624"> 1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1382 624 1626 1142" rowspan="10"> i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="1626 624 1664 1015" rowspan="5"> 判断基準 </td> <td data-bbox="1664 624 2000 695"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="1771 624 2000 695"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 695 2000 735"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="1771 695 2000 735"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 735 2000 775"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="1771 735 2000 775"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 775 2000 815"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="1771 775 2000 815"> <ul style="list-style-type: none"> ・A-格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 815 2000 855"> 電源 </td> <td data-bbox="1771 815 2000 855"> <ul style="list-style-type: none"> ・消幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 855 2000 1015"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="1771 855 2000 1015"> <ul style="list-style-type: none"> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1626 1015 1664 1142" rowspan="2"> 操作 </td> <td data-bbox="1664 1015 2000 1054"> 1.4.2.1(2) b. (a) 1. </td> <td data-bbox="1771 1015 2000 1054"> 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1664 1054 2000 1142"> 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。 </td> <td data-bbox="1771 1054 2000 1142"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・A-格納容器再循環サンプ水位（広域） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・消幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 	操作	1.4.2.1(2) b. (a) 1.	「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																			
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 																																																
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																																
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・B高圧注入ポンプ冷却水流量計 																																																
操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																			
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																																
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位 																																																
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・A-格納容器再循環サンプ水位（広域） 																																																
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・消幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																
	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 																																																	
	操作	1.4.2.1(2) b. (a) 1.	「可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																
		可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																	

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 507 703 1094"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 507 353 579">対応手段</th> <th data-bbox="353 507 479 579">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 507 703 579">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 579 703 603">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 603 703 627">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 627 703 651">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 651 703 675">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 675 320 1094" rowspan="6">L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="320 675 479 738" rowspan="3">原子炉圧力容器内の霧度</td> <td data-bbox="479 675 703 699">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 699 703 722">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 722 703 746">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 738 479 786">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 738 703 786">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 786 479 818">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 786 703 818">・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 818 479 882">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="479 818 703 882">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 882 479 978" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 882 703 930" rowspan="2"></td> <td data-bbox="479 882 703 930">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 930 703 978">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 978 479 1094" rowspan="2">補機冷却</td> <td data-bbox="479 978 703 1026" rowspan="2"></td> <td data-bbox="479 978 703 1026">・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1026 703 1094">・A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1094 479 1110">操作</td> <td data-bbox="479 1094 703 1110">1.4.2.1(2)b.(b)と同様。</td> <td data-bbox="1370 135 2011 1444" rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div> </td> <td data-bbox="2011 135 2179 1444" rowspan="2" style="vertical-align: middle;"> <p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却		・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	・A余熱除去ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																				
1.4.2.3 運転停止中の場合																																						
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																						
b. 代替再循環運転																																						
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																						
L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																				
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																				
		・炉心出口温度計																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																				
	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																				
補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																				
		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																				
補機冷却		・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計																																				
		・A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																				
操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p>																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 470 347 539">対応手段</th> <th data-bbox="347 470 474 539">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="474 470 698 539">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 539 698 566">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 566 698 593">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 593 698 620">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 620 698 647">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 647 318 1129" rowspan="10">注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="318 647 347 1129" rowspan="10">判断基準</td> <td data-bbox="347 647 474 707">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="474 647 698 707"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 707 474 750">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="474 707 698 750">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 750 474 793">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="474 750 698 793">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 793 474 836">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="474 793 698 836">・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 836 474 879">原子炉格納容器内の注水量</td> <td data-bbox="474 836 698 879">・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 879 474 922">原子炉压力容器内の注水量</td> <td data-bbox="474 879 698 922">・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 922 474 965">補機監視機能</td> <td data-bbox="474 922 698 965"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 965 474 1008">補機冷却</td> <td data-bbox="474 965 698 1008"> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1008 474 1051">操作</td> <td data-bbox="474 1008 698 1051">1.4.2.1(2)b.(a)と同等。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。		<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1384 486 1624 539">対応手段</th> <th data-bbox="1624 486 1765 539">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1765 486 2004 539">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 539 2004 566">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 566 2004 593">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 593 2004 620">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 620 2004 647">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 647 1624 1136" rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="1624 647 1653 1136" rowspan="10">判断基準</td> <td data-bbox="1653 647 1765 691">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1765 647 2004 691"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 691 1765 734">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1765 691 2004 734">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 734 1765 777">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="1765 734 2004 777">・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 777 1765 820">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="1765 777 2004 820">・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 820 1765 863">補機監視機能</td> <td data-bbox="1765 820 2004 863"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 863 1765 906">補機冷却</td> <td data-bbox="1765 863 2004 906"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 906 1765 949">操作</td> <td data-bbox="1765 906 2004 949">1.4.2.1(2)b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1653 949 1765 992">操作</td> <td data-bbox="1765 949 2004 992">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） 	操作	1.4.2.1(2)b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	操作	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																							
注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																				
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）																																																																				
		原子炉压力容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																				
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 																																																																				
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。																																																																				
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																																							
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																							
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（取用） 																																																																				
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（取用） 																																																																				
		操作	1.4.2.1(2)b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																				
		操作	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																												
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (45/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ピット水位計	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 	操作	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 		1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (51/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (52/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	操作	1.4.2.2(1)a.(a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	蒸気発生器水位 (狭域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (広域)	補助給水流量	・ 補助給水流量	補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) 	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="color: red; font-weight: bold;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)																																																																															
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																												
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																													
	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																													
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 																																																																													
操作	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																												
			1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																													
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																															
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																												
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																												
		水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																												
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 																																																																												
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																																												
		操作	1.4.2.2(1)a.(a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																												
			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
			1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																												
			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																																									
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																														
蒸気発生器水位 (狭域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																														
蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																														
補助給水流量	・ 補助給水流量																																																																														
補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																													
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 																																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (加用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (加用) 																																																																													
	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																									
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2"></td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 15%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 45%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																							
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																							
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																							
				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 																																																							
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																										
補機監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																									
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																												
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																						
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																										
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																											
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																										
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																						
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																										
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																											
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																										
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																						
	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																										
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																											
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧 (46/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の程度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (54/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (適用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (適用) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (適用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (適用) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																										
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																											
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 																																																											
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																																												
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																												
d. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																										
		原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																										
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量 																																																											
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 																																																											
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (適用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (適用) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																							
<p>監視計器一覧 (47/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 517 349 587">対応手段</th> <th data-bbox="349 517 479 587">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 517 701 587">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 587 701 635">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 635 701 683">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 683 322 1082" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="322 683 479 746" rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 683 701 746"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 746 479 794">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 746 701 794"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 794 479 842">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 794 701 842"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 842 479 890" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 842 701 890"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 890 701 938"> ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 938 479 1018" rowspan="3">電源</td> <td data-bbox="479 938 701 1018"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1018 701 1066"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1066 701 1082"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1082 479 1114">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="479 1082 701 1114"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (55/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1382 533 1666 580">対応手段</th> <th data-bbox="1666 533 1774 580">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1774 533 2000 580">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1382 580 2000 628">1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1382 628 2000 676">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1382 676 1632 1059" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1632 676 1774 740" rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1774 676 2000 740"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 740 1774 788">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1774 740 2000 788"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 788 1774 836">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1774 788 2000 836"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 836 1774 884" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1774 836 2000 884"> ・ 蒸気発生器水位 (狭域) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 884 2000 932"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 932 1774 1059" rowspan="6">電源</td> <td data-bbox="1774 932 2000 979"> ・ 母線電圧 1L、2L 電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 979 2000 1027"> ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 1027 2000 1075"> ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 1075 2000 1123"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 1123 2000 1171"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1774 1171 2000 1219"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 1219 1774 1267">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1774 1219 2000 1267"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量	電源	・ 母線電圧 1L、2L 電圧	・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																										
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																							
	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																								
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																								
		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																								
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																								
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																								
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.4.2.3 発電用原子が停止中の場合																																																										
(2) サポート系故障時の対応手順																																																										
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																							
	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																								
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																								
		・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 補助給水流量																																																								
	電源	・ 母線電圧 1L、2L 電圧																																																								
		・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																								
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)																																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (取用)																																																								
・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																										
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="5">可 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操 作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	操 作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="10">判 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器内循環サンパ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電 源</td> <td>電源</td> <td>・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (B用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A/B用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操 作</td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器内循環サンパ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電 源</td> <td>電源</td> <td>・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機冷却</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A/B用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (A/B用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操 作</td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b, (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧			(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンパ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	電 源	電源	・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (B用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A/B用)	操 作	操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。							対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンパ水位 (広域)	電 源	電源	・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A/B用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (A/B用)	操 作	操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。							<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																									
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																											
a. 復旧																																																																																																											
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																											
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	可 断 基 準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度 残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																								
		電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																								
	操 作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																								
		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力(A, B系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 残留熱除去系ポンプ出口流量(A, B系のみ)																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧																																																																																																											
(a) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内循環サンパ水位 (広域)																																																																																																								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																								
		電 源	電源	・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																							
			補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (B用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (A/B用)																																																																																																						
				操 作	操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ(自己冷却)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合 (2) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧																																																																																																											
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器内循環サンパ水位 (広域)																																																																																																								
		電 源	電源	・ 前幹線 1L, 2L 電圧 ・ 後幹線 1L, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																							
			補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (A/B用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (A/B用)																																																																																																						
				操 作	操作	1.4.2.1(2) b, (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（58/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順 ①、④⑤</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 泊幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合			(2) サポート系故障時の対応手順 ①、④⑤			(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 低圧注入流量	電源	・ 泊幹線1L、2L電圧	・ 後志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）	・ 補助給水ビット水位	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合																																								
(2) サポート系故障時の対応手順 ①、④⑤																																								
(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）																																						
		・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																						
		・ 炉心出口温度																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																						
		・ 加圧器水位																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																						
		・ 低圧注入流量																																						
	電源	・ 泊幹線1L、2L電圧																																						
		・ 後志幹線1L、2L電圧																																						
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																						
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																						
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																						
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																						
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																						
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																								
水源の確保	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（AM用）																																							
	・ 補助給水ビット水位																																							
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由			
監視計器一覧 (48/48)						監視計器一覧 (59/61)						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.3 運転停止中の場合						1.4.2.3 発電用原子炉停止中の場合						
(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順						
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ			判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系補水補給ライン流量積算 ・1次系補水補給ライン流量積算制御				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計				原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計 (CRT)				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位				
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計				原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計				原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計				原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)				
		原子炉格納容器内の放射線量率	—	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ				原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ			
				信号	・停止時SR中性子束高過警報作動警報				信号	・SRが停止時中性子束高 (NS1) 警報 ・SRが停止時中性子束高 (NS2) 警報		
				補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)				補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)		
				電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計				電源	・泊管線1L、2L電圧 ・機舎管線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		
		LOCAの監視	・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計				LOCAの監視	・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率				
		操作	—	—			操作	—	—			
		—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。						—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="3">水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補機監視機能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">水源の確保</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧中心スプレイ系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧中心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="3">水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補機監視機能</td> </tr> <tr> <td colspan="3">水源の確保</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位	補機監視機能	電源の確保	水源の確保			操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量	補機監視機能			水源の確保			手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧中心スプレイ系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧中心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位	補機監視機能	電源の確保	水源の確保			操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器への注水量	低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量	補機監視機能			水源の確保			<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・ ECCS作動</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	・ ECCS作動	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	信号	・ ECCS作動	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	信号	・ 燃料取替用水ピット水位	原子炉压力容器内の圧力	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。			<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																									
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																											
非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																									
		補機監視機能																																																																																																																									
		電源の確保																																																																																																																									
水源の確保																																																																																																																											
操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																									
	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位																																																																																																																									
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																									
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																									
補機監視機能																																																																																																																											
水源の確保																																																																																																																											
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																									
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧中心スプレイ系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																											
非常時操作手順書 (継続ベース) 「水位確保」等 非常時操作手順書 (設備別) 「低圧中心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																									
		補機監視機能																																																																																																																									
		電源の確保																																																																																																																									
水源の確保																																																																																																																											
操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																									
	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器内の水位																																																																																																																									
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																									
	原子炉压力容器への注水量	低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																																									
補機監視機能																																																																																																																											
水源の確保																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																									
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																											
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	・ ECCS作動																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度																																																																																																																								
	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																								
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																								
		信号	・ ECCS作動																																																																																																																								
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (AM用)																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温度) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温度) ・ 中心出口温度																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																								
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																								
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																								
		信号	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																								
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																								
操作	1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">手順書</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (巻紙ベース)「減圧冷却」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (供蒸域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広蒸域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広蒸域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定給時水運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>4-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 高圧主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 高圧主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 高圧主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>125V 高圧主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (供蒸域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (広蒸域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (SA 広蒸域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉水位 (定給時水運用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (巻紙ベース)「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸域)	原子炉水位 (広蒸域)	非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広蒸域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定給時水運用)	原子炉圧力	電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度			残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度			残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度			残留熱除去系熱交換器出口流量			6-20 母線電圧			6-20 母線電圧			4-20 母線電圧			4-20 母線電圧			125V 高圧主母線 2A 電圧			125V 高圧主母線 2B 電圧			125V 高圧主母線 2A-1 電圧			125V 高圧主母線 2B-1 電圧			原子炉水位 (供蒸域)			原子炉水位 (広蒸域)			原子炉水位 (燃料域)			原子炉水位 (SA 広蒸域)			原子炉水位 (SA 燃料域)			原子炉水位 (停止域)			原子炉水位 (定給時水運用)			原子炉圧力			原子炉圧力 (SA)			原子炉圧力容器温度			残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)			残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度			残留熱除去系熱交換器入口温度			残留熱除去系熱交換器出口温度			残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	水源の確保	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	水源の確保	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																			
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																																																																																																					
非常時操作手順書 (巻紙ベース)「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (広蒸域)																																																																																																																																			
非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA 広蒸域)																																																																																																																																			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																																																			
補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定給時水運用)																																																																																																																																			
		原子炉圧力																																																																																																																																			
電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器温度																																																																																																																																			
最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器出口流量																																																																																																																																			
		6-20 母線電圧																																																																																																																																			
		6-20 母線電圧																																																																																																																																			
		4-20 母線電圧																																																																																																																																			
		4-20 母線電圧																																																																																																																																			
		125V 高圧主母線 2A 電圧																																																																																																																																			
		125V 高圧主母線 2B 電圧																																																																																																																																			
		125V 高圧主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																			
		125V 高圧主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																			
		原子炉水位 (供蒸域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (広蒸域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA 広蒸域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (停止域)																																																																																																																																			
		原子炉水位 (定給時水運用)																																																																																																																																			
		原子炉圧力																																																																																																																																			
		原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																																			
		残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																			
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																																					
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																																			
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																			
		水源の確保																																																																																																																																			
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の温度																																																																																																																																			
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																																																																																																			
		水源の確保																																																																																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環タンク側入口格納容器隔離弁	A 1 原子炉コントロールセンタ
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-2(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤

第 1.4-3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ 補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
		常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	燃料プール補給水系 弁	可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系 ポンプ	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可搬型代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系 非常用高圧母線 2D 系
			緊急用低圧母線 MCC 2G 系
可搬型代替交流電源設備		非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系	
		非常用低圧母線 MCC 2C 系	
代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
低圧炉心スプレイ系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
計測用電源*	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2D 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A 125V 直流主母線 2B	

*：供給負荷は監視装置

第 1.4.3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	化学体積制御設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線
			A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線
			A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	全熱除去設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A 1 非常用高圧母線 4-B 1 非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A 1 非常用高圧母線 4-B 1 非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線
			A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
常設代替交流電源設備		B-A 非常用高圧母線 B-B 非常用高圧母線	
		A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ	
所内常設蓄電式直流電源設備	非常用交流電源設備	A-直流母線 B-直流母線	

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

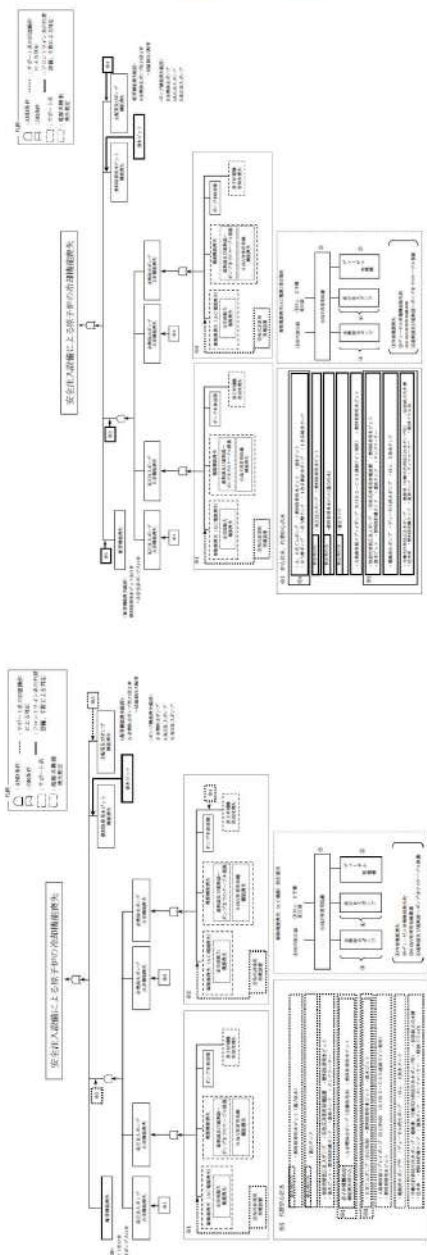
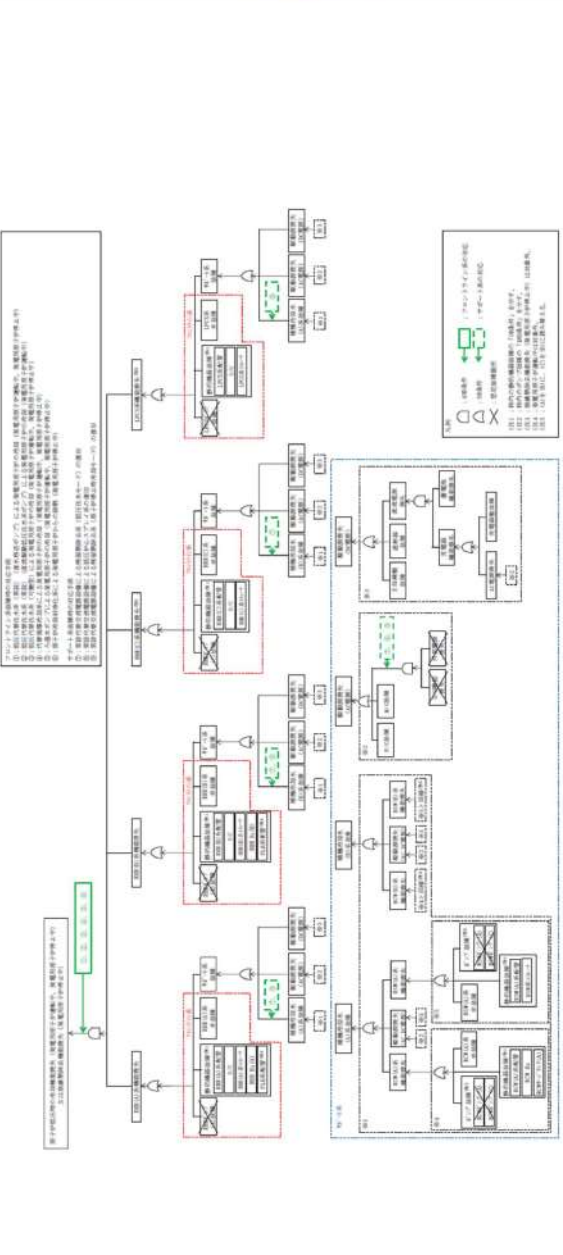
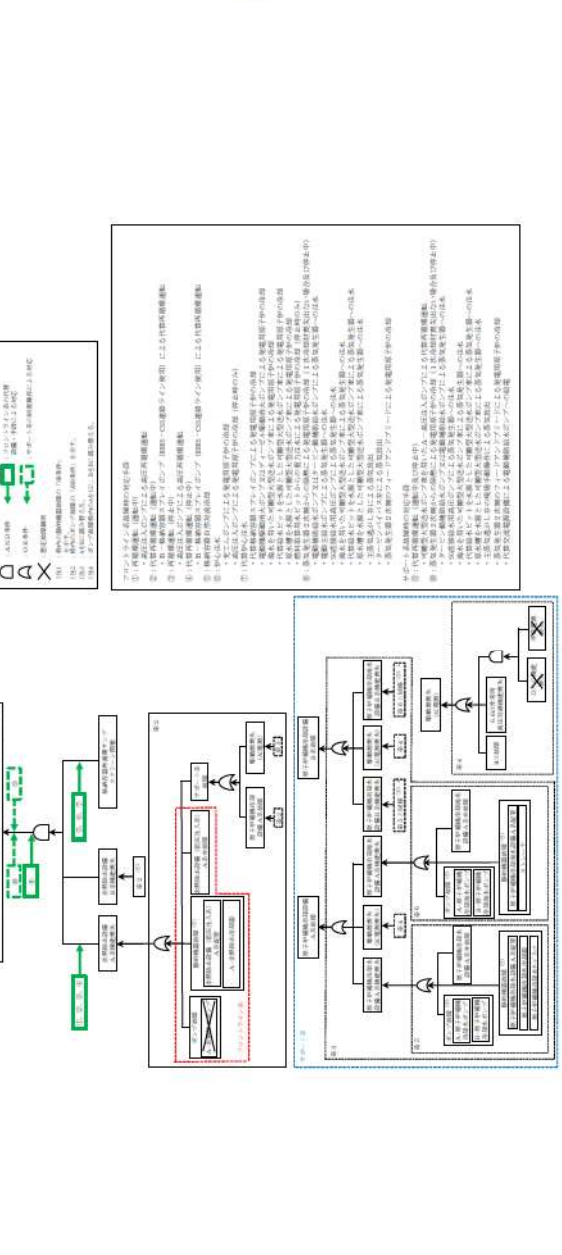
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																			
		<p>第 1.4.3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1370 223 2011 614"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象条文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="2">2次冷却剤（補助給水設備）ポンプ、弁</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>6-A 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>市内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>6-B 非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次冷却設備（主蒸気設備）弁</td> <td>市内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-1 直流母線</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>B-1 直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>A-2-1 非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用電源²⁾</td> <td>市内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>B-2-1 非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>C-2-1 非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>D-2-1 非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>A-1 設備用直流電源分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給負荷は監視対象</p>	対象条文	供給対象設備	給電元		設備	母線	【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却剤（補助給水設備）ポンプ、弁	非常用交流電源設備	6-A 非常用高圧母線	市内常設蓄電式直流電源設備	6-B 非常用高圧母線	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	市内常設蓄電式直流電源設備	A-1 直流母線	非常用交流電源設備	B-1 直流母線	代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	非常用交流電源設備	A-2-1 非常用交流分電盤	非常用電源 ²⁾	市内常設蓄電式直流電源設備	B-2-1 非常用交流分電盤	常設代替交流電源設備	C-2-1 非常用交流分電盤	非常用交流電源設備	D-2-1 非常用交流分電盤	非常用交流電源設備	A-1 設備用直流電源分電盤	
対象条文	供給対象設備	給電元																																				
		設備	母線																																			
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却剤（補助給水設備）ポンプ、弁	非常用交流電源設備	6-A 非常用高圧母線																																			
		市内常設蓄電式直流電源設備	6-B 非常用高圧母線																																			
	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	市内常設蓄電式直流電源設備	A-1 直流母線																																			
		非常用交流電源設備	B-1 直流母線																																			
	代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																			
		可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																			
		代替所内電気設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																			
		非常用交流電源設備	A-2-1 非常用交流分電盤																																			
	非常用電源 ²⁾	市内常設蓄電式直流電源設備	B-2-1 非常用交流分電盤																																			
		常設代替交流電源設備	C-2-1 非常用交流分電盤																																			
非常用交流電源設備		D-2-1 非常用交流分電盤																																				
非常用交流電源設備		A-1 設備用直流電源分電盤																																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析 (冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却手順)</p> <p>第1.4.2図 機能喪失原因対策分析 (冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却手順)</p>	 <p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	 <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤字点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：フロントライン系機能喪失）</p> <p>第1.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転時：サポート系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 320 1357 938" style="border: 1px solid black; height: 387px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="763 963 1341 983">第1.4-2図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="945 1236 1357 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> 特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2029 667 2170 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 320 1364 927" style="border: 1px solid black; height: 380px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="770 954 1350 975" style="font-size: small;">第 1.4-3 図 非常時操作手順書（敷待ベース）「減圧冷却」における対応フロー</div> <div data-bbox="954 1241 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; font-size: small;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">女川 2号炉との比較対象なし</div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 316 1361 1066" style="border: 1px solid black; height: 470px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="770 1093 1346 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（微候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="952 1241 1361 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 183px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 746 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2027 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 319 1361 1109" style="border: 1px solid black; height: 495px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="779 1136 1323 1182">第 1.4-5 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー</p> <div data-bbox="949 1236 1355 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	<div data-bbox="1469 742 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">女川 2号炉との比較対象なし</div>	<p data-bbox="2027 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 327 1355 1077" style="border: 1px solid black; height: 470px; width: 267px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="801 1109 1310 1157" style="text-align: center;">第 1.4-6 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー</p> <div data-bbox="952 1228 1355 1252" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 180px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 742 1915 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2027 662 2161 893"> 【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様） </p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

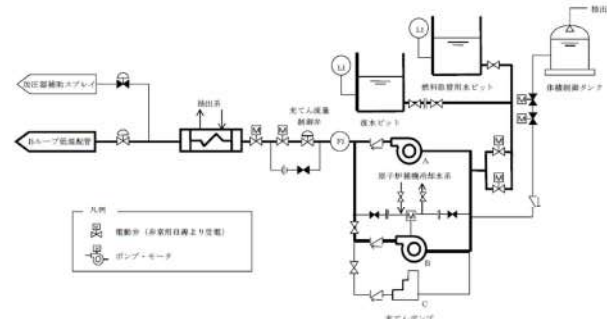
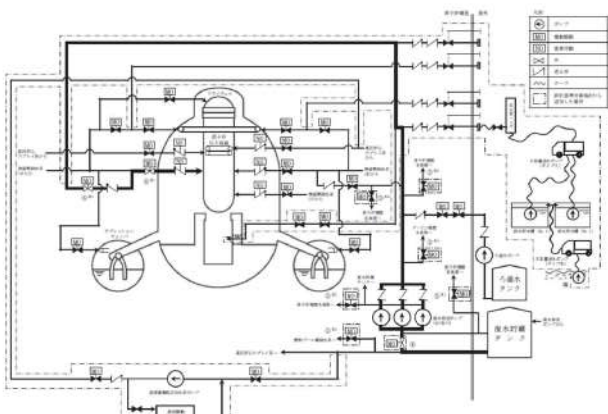
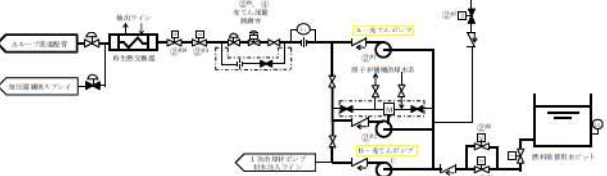
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 316 1366 869" style="border: 2px solid black; height: 347px; width: 276px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="779 898 1335 943" style="text-align: center;">第 1.4-7 図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジ-4」における対応フロー</p> <div data-bbox="949 1246 1357 1273" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 182px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 727 2168 890" style="list-style-type: none"> ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
 <p>図 1.4.5 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>図 1.4-8 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①[※]</td> <td>CED 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>蒸気 サンプリング 取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>FRWR ポンプ 送込弁</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>1/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤[※]</td> <td>2/B 3/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥[※]</td> <td>2/B 1/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧[※]</td> <td>3/B A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨[※]</td> <td>3/B ヘッドスプレイトラン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>図 1.4-8 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① [※]	CED 復水入口弁	② [※]	蒸気 サンプリング 取出し止め弁	③ [※]	FRWR ポンプ 送込弁	④ [※]	1/B 緊急時隔離弁	⑤ [※]	2/B 3/B 緊急時隔離弁	⑥ [※]	2/B 1/B 緊急時隔離弁	⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ [※]	3/B A 系 LPCI 注入隔離弁	⑨ [※]	3/B ヘッドスプレイトラン洗浄流量調整弁	 <p>図 1.4.2 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 957 1971 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①[※]</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②[※]</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③[※]</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>④[※]</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤[※]</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥[※]</td> <td>体積貯留タンク 出口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦[※]</td> <td>体積貯留タンク 出口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧[※]</td> <td>水でん流量制御弁</td> <td>調整閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨[※]</td> <td>水でんラインC/B外側止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩[※]</td> <td>水でんラインC/B内側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① [※]	A-充てんポンプ	起動確認	② [※]	B-充てんポンプ	起動確認	③ [※]	C-充てんポンプ	起動確認	④ [※]	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁A	全閉→全開	⑤ [※]	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁B	全閉→全開	⑥ [※]	体積貯留タンク 出口第1止め弁	全閉→全開	⑦ [※]	体積貯留タンク 出口第2止め弁	全閉→全開	⑧ [※]	水でん流量制御弁	調整閉→全開	⑨ [※]	水でんラインC/B外側止め弁	全閉→全開	⑩ [※]	水でんラインC/B内側隔離弁	全閉→全開	⑪	充てん流量制御弁	全開→調整閉	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																										
① [※]	CED 復水入口弁																																																										
② [※]	蒸気 サンプリング 取出し止め弁																																																										
③ [※]	FRWR ポンプ 送込弁																																																										
④ [※]	1/B 緊急時隔離弁																																																										
⑤ [※]	2/B 3/B 緊急時隔離弁																																																										
⑥ [※]	2/B 1/B 緊急時隔離弁																																																										
⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
⑧ [※]	3/B A 系 LPCI 注入隔離弁																																																										
⑨ [※]	3/B ヘッドスプレイトラン洗浄流量調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
① [※]	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
② [※]	B-充てんポンプ	起動確認																																																									
③ [※]	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
④ [※]	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁A	全閉→全開																																																									
⑤ [※]	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット 側入口弁B	全閉→全開																																																									
⑥ [※]	体積貯留タンク 出口第1止め弁	全閉→全開																																																									
⑦ [※]	体積貯留タンク 出口第2止め弁	全閉→全開																																																									
⑧ [※]	水でん流量制御弁	調整閉→全開																																																									
⑨ [※]	水でんラインC/B外側止め弁	全閉→全開																																																									
⑩ [※]	水でんラインC/B内側隔離弁	全閉→全開																																																									
⑪	充てん流量制御弁	全開→調整閉																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

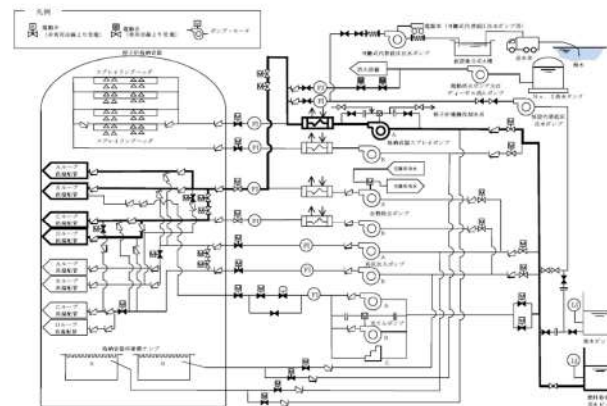
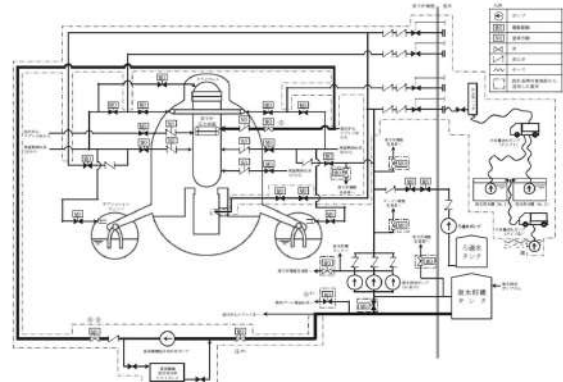
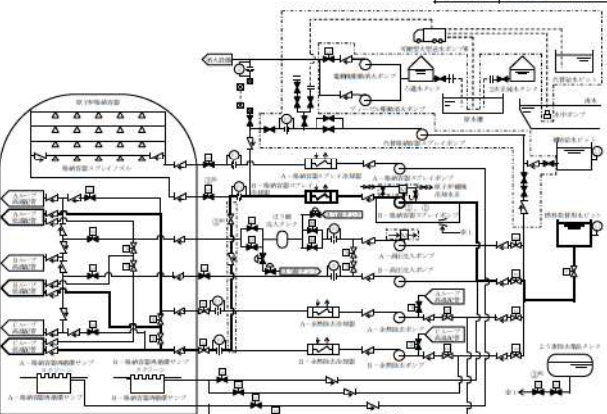
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
	<div data-bbox="875 164 1093 1430"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(数)</th> <th>経過時間(分)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">低圧代替注水系(常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水</td> <td rowspan="2">運転員(中央制御室)A</td> <td>15分</td> <td>原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td> ① 低圧代替注水系の稼働 ② 復水移送ポンプの稼働 ③ 原子炉圧力容器への注水 </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p> </div> <div data-bbox="1198 288 1234 1305"> <p>第1.4-9 図 低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考	低圧代替注水系(常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室)A	15分	原子炉圧力容器への注水	1	① 低圧代替注水系の稼働 ② 復水移送ポンプの稼働 ③ 原子炉圧力容器への注水		<p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考										
低圧代替注水系(常設) (復水移送ポンプ)による原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室)A	15分	原子炉圧力容器への注水										
		1	① 低圧代替注水系の稼働 ② 復水移送ポンプの稼働 ③ 原子炉圧力容器への注水										

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="873 941 1232 1037"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>炉心注水調整弁</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>注水ポンプ機込弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>DCIポンプ機込弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>DCI自入流量調整弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	炉心注水調整弁	起動→停止	②	注水ポンプ機込弁	全開確認	③	DCIポンプ機込弁	全開→全閉	④	DCI自入流量調整弁	全開→全閉	 <p>第1.4.3図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1061 1960 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>よう素除去装置タンク注入Bライン止め弁後弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	②	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開確認	③	よう素除去装置タンク注入Bライン止め弁後弁	全開→全閉	④	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）	全開→全閉	⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	炉心注水調整弁	起動→停止																																		
②	注水ポンプ機込弁	全開確認																																		
③	DCIポンプ機込弁	全開→全閉																																		
④	DCI自入流量調整弁	全開→全閉																																		
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																		
②	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開確認																																		
③	よう素除去装置タンク注入Bライン止め弁後弁	全開→全閉																																		
④	B-余熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）	全開→全閉																																		
⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

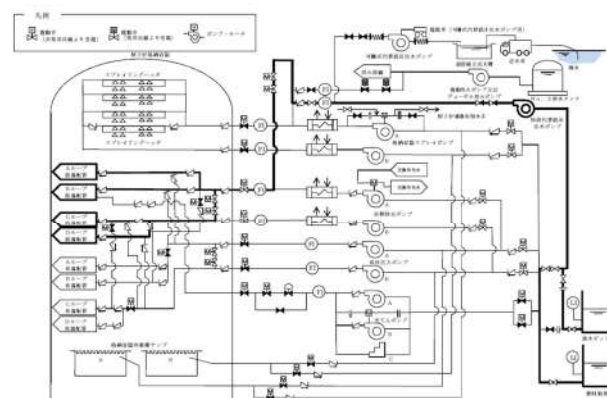
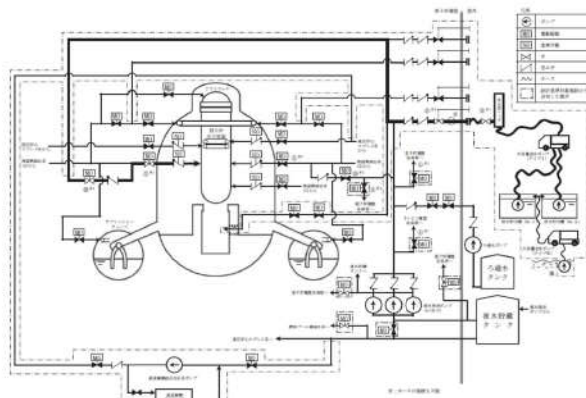
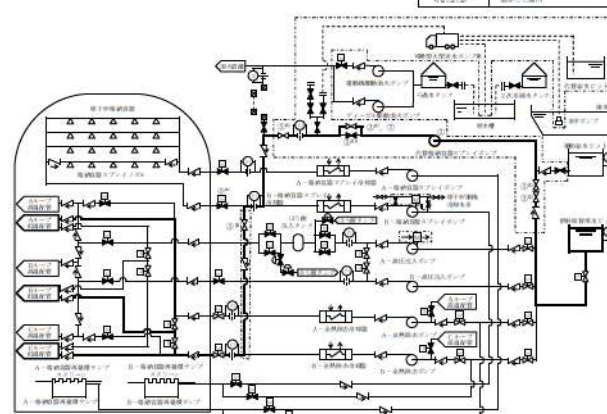
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p> <p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※：現象移動時間には防護装置着脱時間を含む。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>第1.4.11図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な経過時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>第1.4.4図 B一格納容器スプレイポンプ（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
 <p>図 1.4.8 図 代替格納圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 861 1288 1109"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>帯名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>R/B 11F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/R A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>R/R B 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#2}</td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑦^{#1}</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#1}</td> <td>R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨を示す。</p> <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	帯名称	④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁	④ ^{#2}	R/B 11F 緊急時隔離弁	④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ ^{#1}	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#2}	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁	⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑦ ^{#1}	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑧ ^{#1}	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>図 1.4.5 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1037 1971 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>B-格納容器スプレイ泡封器出口C/A側隔離弁</td> <td>全開→確認</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#3}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#4}</td> <td>B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SAR対策）</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#6}</td> <td>B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#7}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#8}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>全開→調整開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#9}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#10}</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁</td> <td>調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ ^{#1}	B-格納容器スプレイ泡封器出口C/A側隔離弁	全開→確認	⑤ ^{#2}	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全開	⑤ ^{#3}	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全開	⑤ ^{#4}	B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SAR対策）	全開→全開	⑤ ^{#5}	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開	⑤ ^{#6}	B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁	全開→全開	⑤ ^{#7}	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→全開	⑤ ^{#8}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開	⑤ ^{#9}	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	⑤ ^{#10}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	帯名称																																																							
④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁																																																							
④ ^{#2}	R/B 11F 緊急時隔離弁																																																							
④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																							
⑤ ^{#1}	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁																																																							
⑤ ^{#2}	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁																																																							
⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁																																																							
⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																							
⑦ ^{#1}	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																							
⑧ ^{#1}	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																						
⑤ ^{#1}	B-格納容器スプレイ泡封器出口C/A側隔離弁	全開→確認																																																						
⑤ ^{#2}	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全開																																																						
⑤ ^{#3}	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全開																																																						
⑤ ^{#4}	B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SAR対策）	全開→全開																																																						
⑤ ^{#5}	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開→全開																																																						
⑤ ^{#6}	B-余熱除去泡封器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁	全開→全開																																																						
⑤ ^{#7}	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全開→全開																																																						
⑤ ^{#8}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	全開→調整開																																																						
⑤ ^{#9}	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																						
⑤ ^{#10}	代替格納容器スプレイポンプ出口炉心注水用絞り弁	調整開																																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

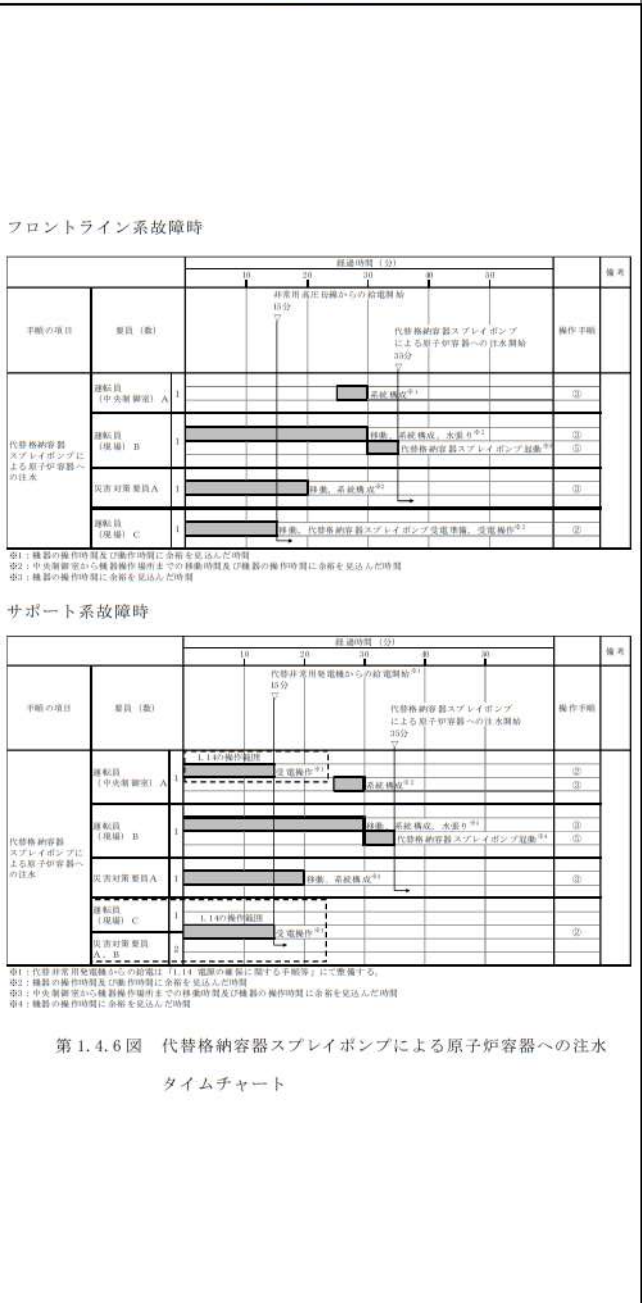
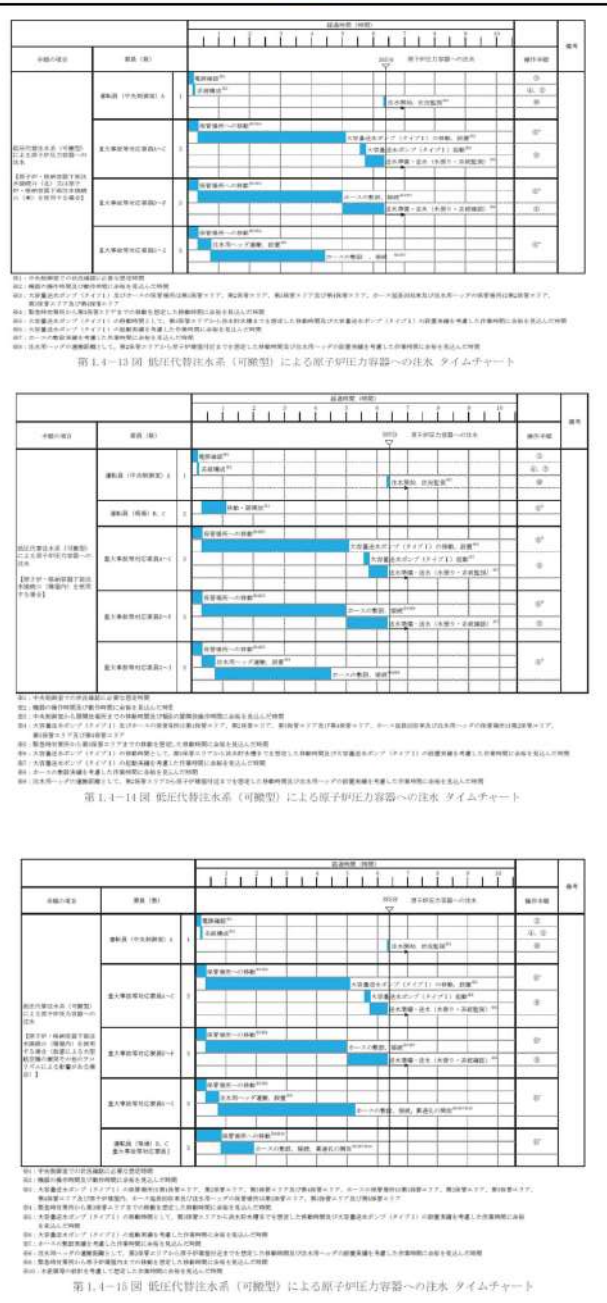
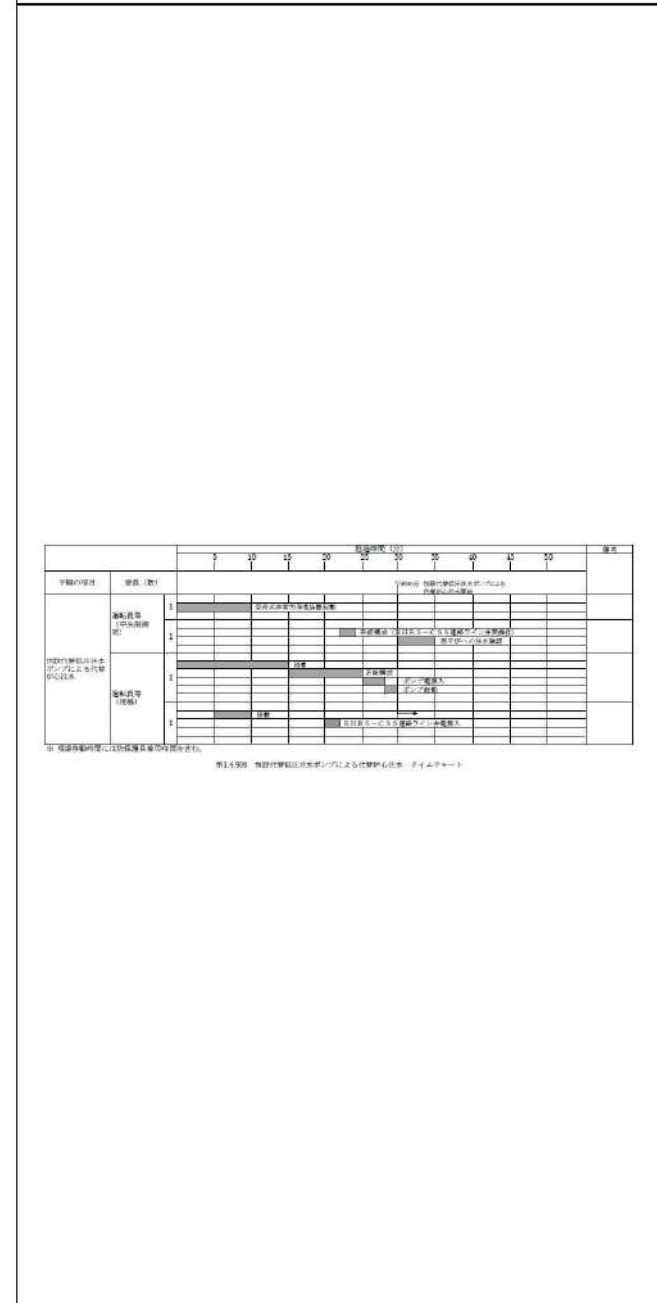
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



【大阪】
 設備の相違
 (相違理由②)

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

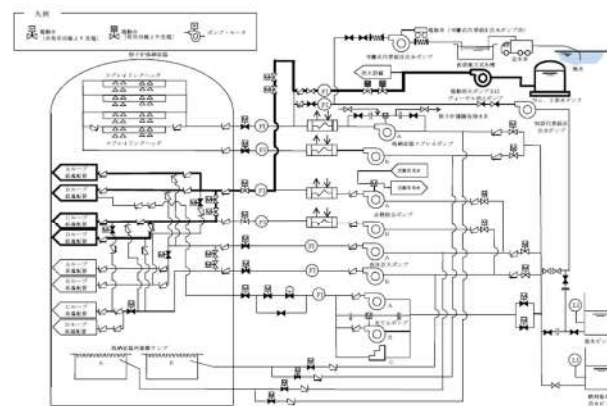
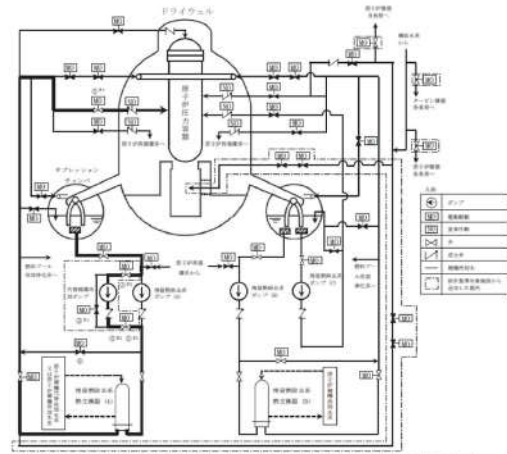
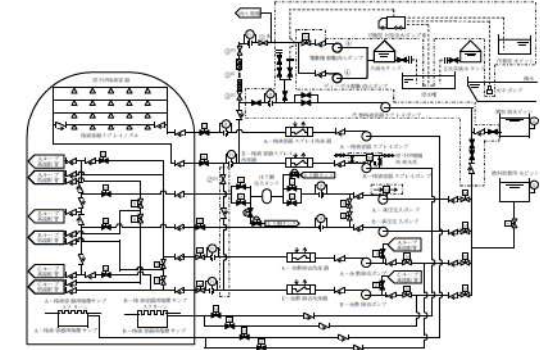
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div style="text-align: center;"> <p>第 1.4.7 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 （原子炉格納容器注水から原子炉容器への注水切替え） タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由①）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
 <p>第1.4.10図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 925 1332 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③^{#1}</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#2} ⑤^{#2}</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>RBR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>超臨熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	名称	③ ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	④ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ ^{#1}	RBR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	超臨熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第1.4.8図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1792 327 1993 670"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>空気作動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワイン・ゴーキー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遮断弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型ホース</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>カブツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>隔離口</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自己回転機構 (ホースによる制御)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替補機弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設計基準事故対応設備から追加した設備</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1422 1037 1960 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>②^{#1}</td> <td>RBR消火水注入ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>RBR消火水供給ライン第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#3}</td> <td>同一系統上流理器出口精細調整スプレイ水注入ライン止め弁 (RBR第)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#4}</td> <td>RBR消火水供給ライン第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>電動機駆動消火ポンプ[#] ディーゼル駆動消火ポンプ[#]</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。 #：どちらか一方を起動する。</p>	凡例			手動弁		空気作動弁		電動弁		ワイン・ゴーキー		遮断弁		可搬型ホース		逆止弁		水位計		カブツ		隔離口		自己回転機構 (ホースによる制御)		代替補機弁		設計基準事故対応設備から追加した設備	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{#1}	可搬型ホース	ホース接続	② ^{#1}	RBR消火水注入ライン止め弁	全閉→全開	② ^{#2}	RBR消火水供給ライン第2止め弁	全閉→全開	② ^{#3}	同一系統上流理器出口精細調整スプレイ水注入ライン止め弁 (RBR第)	全閉→全開	② ^{#4}	RBR消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開	④	電動機駆動消火ポンプ [#] ディーゼル駆動消火ポンプ [#]	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	名称																																																															
③ ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																																															
③ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																															
④ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																															
⑤ ^{#1}	RBR A系 LPCI 注入隔離弁																																																															
⑥	超臨熱交換器 (A) バイパス弁																																																															
凡例																																																																
	手動弁																																																															
	空気作動弁																																																															
	電動弁																																																															
	ワイン・ゴーキー																																																															
	遮断弁																																																															
	可搬型ホース																																																															
	逆止弁																																																															
	水位計																																																															
	カブツ																																																															
	隔離口																																																															
	自己回転機構 (ホースによる制御)																																																															
	代替補機弁																																																															
	設計基準事故対応設備から追加した設備																																																															
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																														
① ^{#1}	可搬型ホース	ホース接続																																																														
② ^{#1}	RBR消火水注入ライン止め弁	全閉→全開																																																														
② ^{#2}	RBR消火水供給ライン第2止め弁	全閉→全開																																																														
② ^{#3}	同一系統上流理器出口精細調整スプレイ水注入ライン止め弁 (RBR第)	全閉→全開																																																														
② ^{#4}	RBR消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開																																																														
④	電動機駆動消火ポンプ [#] ディーゼル駆動消火ポンプ [#]	停止→起動																																																														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

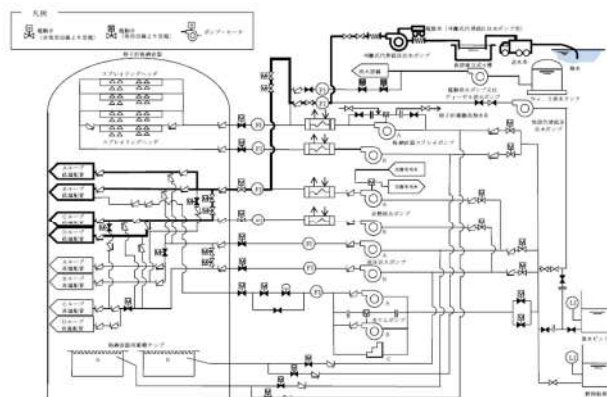
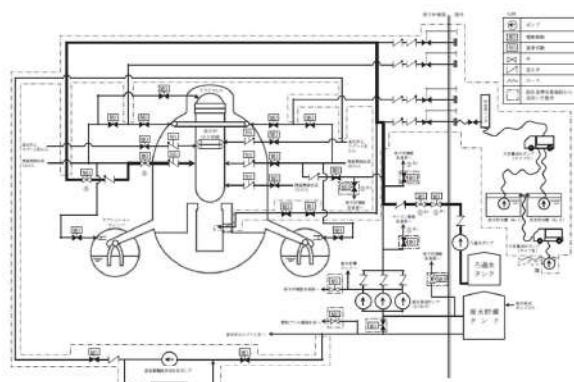
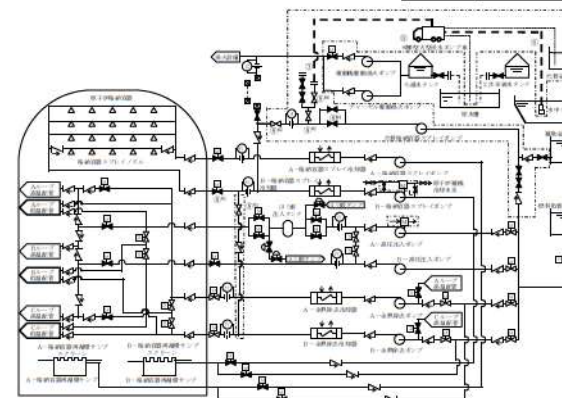
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には対応保護具着用時間を含む。</p>	<p>第1.4-17図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な準備時間 ※2：機器の操作時間及び操作時間に見込んだ時間</p>	<p>第1.4.9図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																						
 <p>凡例 ① 可搬型大型送水ポンプ ② 可搬型大型送水ポンプ車</p> <p>第 1.4.12 図 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 869 1321 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>R/B BIP 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>R/B IP 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>R/R A系 LCVI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨を示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	名称	①#1	T/B 緊急時隔離弁	①#2	R/B BIP 緊急時隔離弁	①#3	R/B IP 緊急時隔離弁	②#1	FW 系連絡第一弁	②#2	FW 系連絡第二弁	③	R/R A系 LCVI 注入隔離弁	④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>凡例</p> <table border="1" data-bbox="1803 311 2004 622"> <tbody> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>遮断弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>ワンウェイ弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> <tr><td></td><td>弁</td></tr> </tbody> </table> <p>第 1.4.10 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1037 1971 1189"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ</td> <td>ポンプ停止</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ出口外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>B-系断流去出器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (B/A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#3</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#4</td> <td>B1-系断流去出器出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>		手動弁		遮断弁		電動弁		ワンウェイ弁		逆止弁		逆止弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁		弁	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働	②	可搬型ポンプ	ポンプ停止	③#1	B-格納容器スプレイポンプ出口外側隔離弁	全閉→全開	③#2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	④#1	B-系断流去出器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (B/A対策)	全閉→全開	④#2	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続ライン止め弁	全閉→全開	④#3	代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④#4	B1-系断流去出器出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	名称																																																																																																																																																																																																																																																								
①#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																								
①#2	R/B BIP 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																								
①#3	R/B IP 緊急時隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																								
②#1	FW 系連絡第一弁																																																																																																																																																																																																																																																								
②#2	FW 系連絡第二弁																																																																																																																																																																																																																																																								
③	R/R A系 LCVI 注入隔離弁																																																																																																																																																																																																																																																								
④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	手動弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	遮断弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	電動弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	ワンウェイ弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	逆止弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	逆止弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
	弁																																																																																																																																																																																																																																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																																							
①	可搬型ポンプ	ポンプ稼働																																																																																																																																																																																																																																																							
②	可搬型ポンプ	ポンプ停止																																																																																																																																																																																																																																																							
③#1	B-格納容器スプレイポンプ出口外側隔離弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
③#2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
④#1	B-系断流去出器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (B/A対策)	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
④#2	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続ライン止め弁	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
④#3	代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
④#4	B1-系断流去出器出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																																																																																																																																																																																																																							
⑤	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働																																																																																																																																																																																																																																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

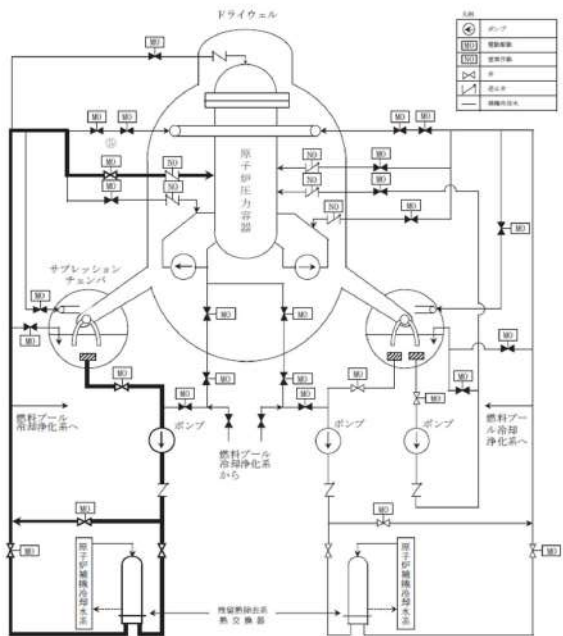
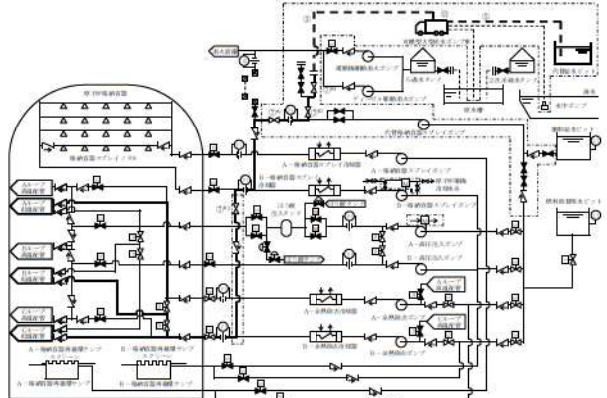
大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4-18 可搬式代替型送水ポンプによる代替型心注水 タイムチャート</p> <p>※ 可搬式代替型送水ポンプによる代替型心注水 タイムチャート</p>	<p>図 1.4-19 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要人の配置時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間による要人の配置時間</p>	<p>図 1.4-11 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間による要人の配置時間 ※2：中央制御室から機器操作時間までの移動時間及び機器の操作時間による要人の配置時間 ※3：中央制御室から機器操作時間までの移動時間による要人の配置時間 ※4：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間による要人の配置時間 ※5：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間による要人の配置時間 ※6：可搬型大型送水ポンプ車の停止時間による要人の配置時間 ※7：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間による要人の配置時間 ※8：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間による要人の配置時間 ※9：可搬型大型送水ポンプ車の停止時間による要人の配置時間 ※10：可搬型大型送水ポンプ車の移動時間による要人の配置時間 ※11：可搬型大型送水ポンプ車の運転時間による要人の配置時間 ※12：可搬型大型送水ポンプ車の停止時間による要人の配置時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4-20図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4.12図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

凡例

	手動弁
	空気作動弁
	電動弁
	ツインパワー弁
	遮断弁
	可搬型弁
	圧力計
	水位計
	カプラ
	格納口
	自己作用調整 (ボースによる閉鎖)
	代替補給冷却
	設計基準事故対応設備 から省略した機器

操作手順	操作対象機器	状態の変化
①	可搬型弁	閉
②	可搬型弁	開
③	代替補給系スライダポンプ送水ライン弁	全閉→全開
④	圧力容器熱除去系送水ライン弁	全閉→全開
⑤	代替補給系スライダポンプ出口可搬型弁	全閉→全開
⑥	送水ポンプ	全閉→全開
⑦	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働

注：①～⑦は、操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する場合は、その旨を記載することとする。

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

泊3号炉との比較対象なし

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

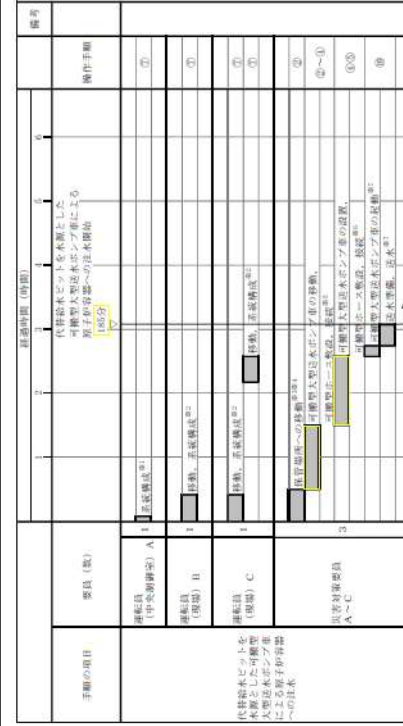
泊発電所3号炉

相違理由



第1.4-21図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

第1.4-21図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート



第1.4-13図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

第1.4.13図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による

原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

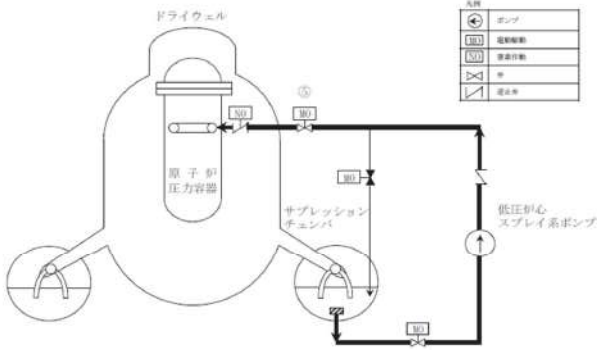
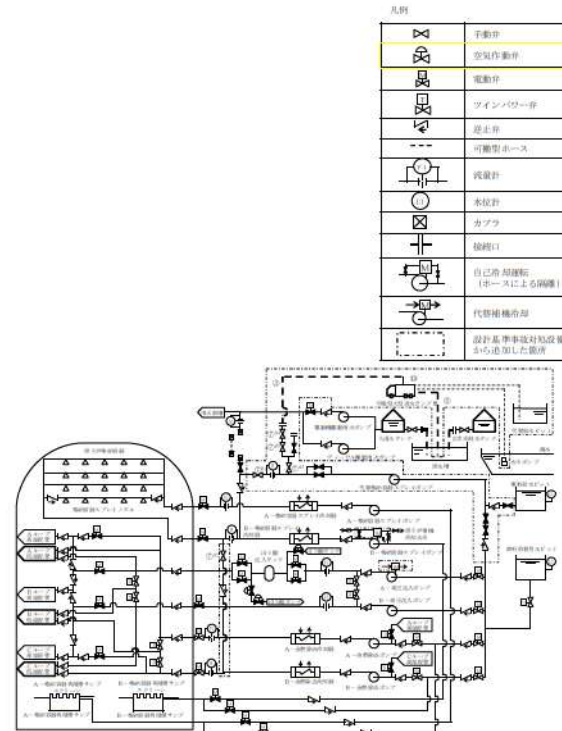
【大飯】
 設備の相違
 (相違理由③)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-22 図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.14 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

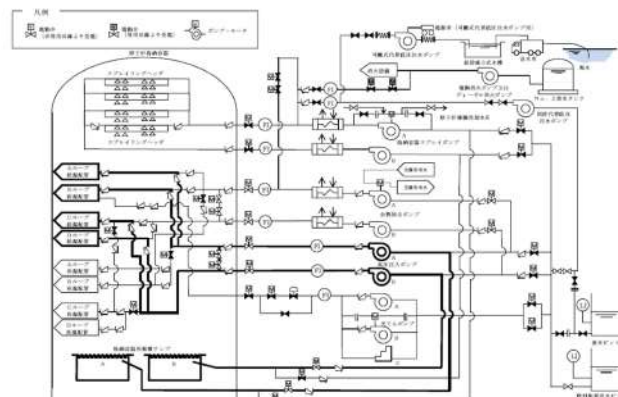
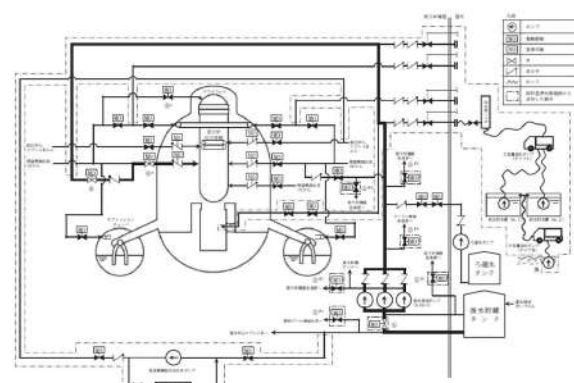
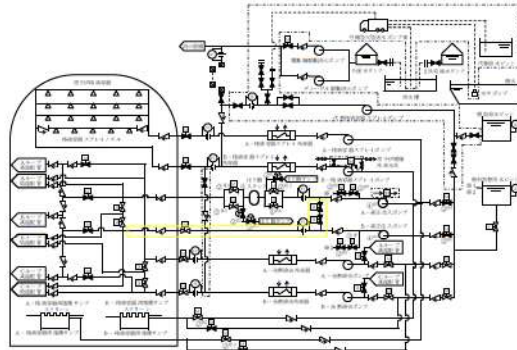
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="938 362 1066 1198" style="text-align: center;"> <p>第 1.4-23 図 低圧圧力系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div data-bbox="1386 438 1778 1153" style="text-align: center;"> <p>第 1.4.15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div data-bbox="2027 754 2134 834" style="text-align: center;"> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> </div>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

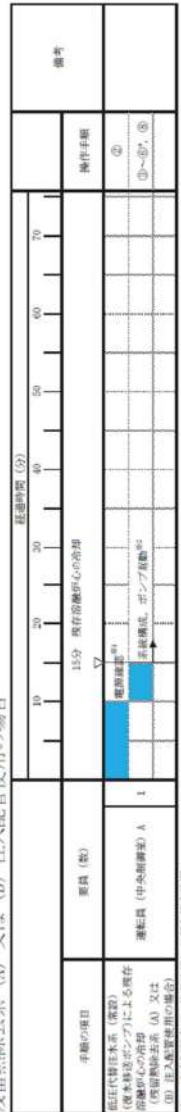
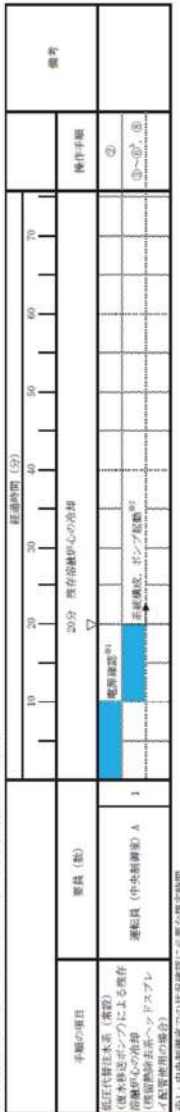
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
 <p>第1.4.14図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 861 1265 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①^{※1}</td><td>C/D 復水入口弁</td></tr> <tr><td>②^{※1}</td><td>抜栓 サンプラインダ取出し止め弁</td></tr> <tr><td>③^{※1}</td><td>同機サンプ線送弁</td></tr> <tr><td>④^{※1}</td><td>R/B 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑤^{※1}</td><td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑥^{※1}</td><td>R/B J/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td></tr> <tr><td>⑧^{※1}</td><td>副機 A 系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑨^{※1}</td><td>副機 ヘッドスプレーライン注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>副機 ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① ^{※1}	C/D 復水入口弁	② ^{※1}	抜栓 サンプラインダ取出し止め弁	③ ^{※1}	同機サンプ線送弁	④ ^{※1}	R/B 緊急時隔離弁	⑤ ^{※1}	R/B B/F 緊急時隔離弁	⑥ ^{※1}	R/B J/F 緊急時隔離弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ ^{※1}	副機 A 系 LPCI 注入隔離弁	⑨ ^{※1}	副機 ヘッドスプレーライン注入隔離弁	⑩	副機 ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.16図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 917 1948 1236"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>②^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク蓄積ライン出口1止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>③^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク蓄積ライン出口2止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>④^{※1}</td><td>A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑤^{※1}</td><td>B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑥^{※1}</td><td>A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑦^{※1}</td><td>B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑧^{※1}</td><td>A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑨^{※1}</td><td>B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑩^{※1}</td><td>A→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑪^{※1}</td><td>B→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>⑫^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク入口弁A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑬^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク入口弁B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑭^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑮^{※1}</td><td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑯^{※1}</td><td>A→高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑰^{※1}</td><td>B→高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全開	② ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口1止め弁	全開→全閉	③ ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口2止め弁	全開→全閉	④ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁	全開→全閉	⑤ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁	全閉→全開	⑥ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉	⑦ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	⑧ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉	⑨ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	⑩ ^{※1}	A→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁	全閉→全開	⑪ ^{※1}	B→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁	全開→全閉	⑫ ^{※1}	ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開	⑬ ^{※1}	ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開	⑭ ^{※1}	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開	⑮ ^{※1}	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開	⑯ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ	停止→起動	⑰ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																														
① ^{※1}	C/D 復水入口弁																																																																														
② ^{※1}	抜栓 サンプラインダ取出し止め弁																																																																														
③ ^{※1}	同機サンプ線送弁																																																																														
④ ^{※1}	R/B 緊急時隔離弁																																																																														
⑤ ^{※1}	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑥ ^{※1}	R/B J/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																														
⑧ ^{※1}	副機 A 系 LPCI 注入隔離弁																																																																														
⑨ ^{※1}	副機 ヘッドスプレーライン注入隔離弁																																																																														
⑩	副機 ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁																																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																													
① ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全開																																																																													
② ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口1止め弁	全開→全閉																																																																													
③ ^{※1}	ほう酸注入タンク蓄積ライン出口2止め弁	全開→全閉																																																																													
④ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁	全開→全閉																																																																													
⑤ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット投入口弁	全閉→全開																																																																													
⑥ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑦ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑧ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑨ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑩ ^{※1}	A→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁	全閉→全開																																																																													
⑪ ^{※1}	B→安全注入ポンプ再循環サンプ側投入DCV外側隔離弁	全開→全閉																																																																													
⑫ ^{※1}	ほう酸注入タンク入口弁A	全閉→全開																																																																													
⑬ ^{※1}	ほう酸注入タンク入口弁B	全閉→全開																																																																													
⑭ ^{※1}	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開																																																																													
⑮ ^{※1}	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開																																																																													
⑯ ^{※1}	A→高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													
⑰ ^{※1}	B→高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>残留熱除去系 (A) 又は (B) 注入配管使用の場合</p>  <p>要員 (数) 運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要な想定時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を足込んだ時間</p>	<p>残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合</p>  <p>要員 (数) 運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要な想定時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を足込んだ時間</p>	

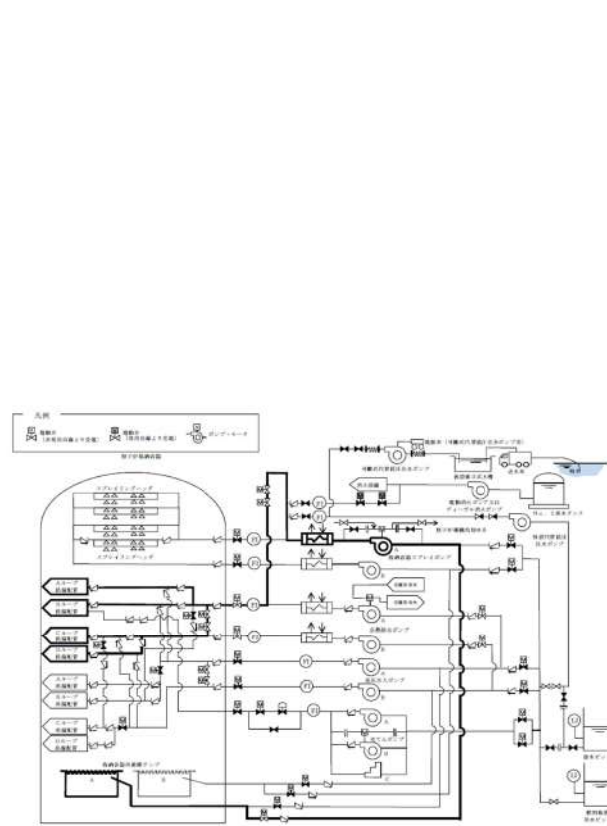
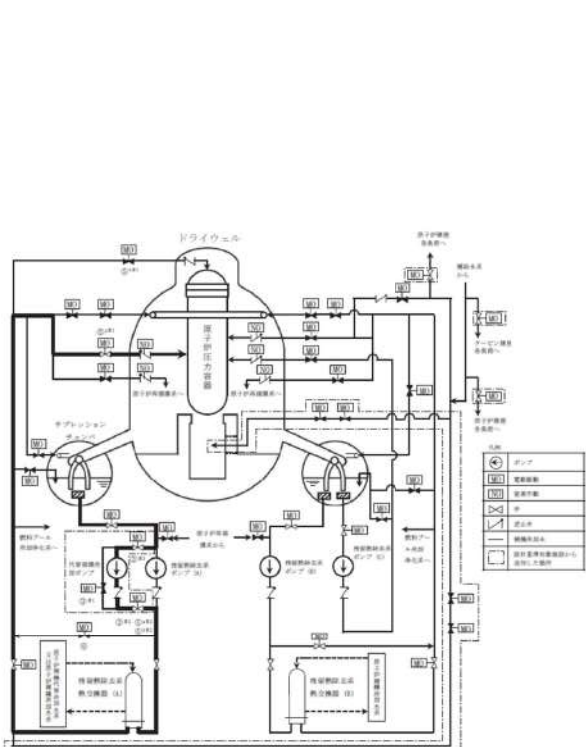
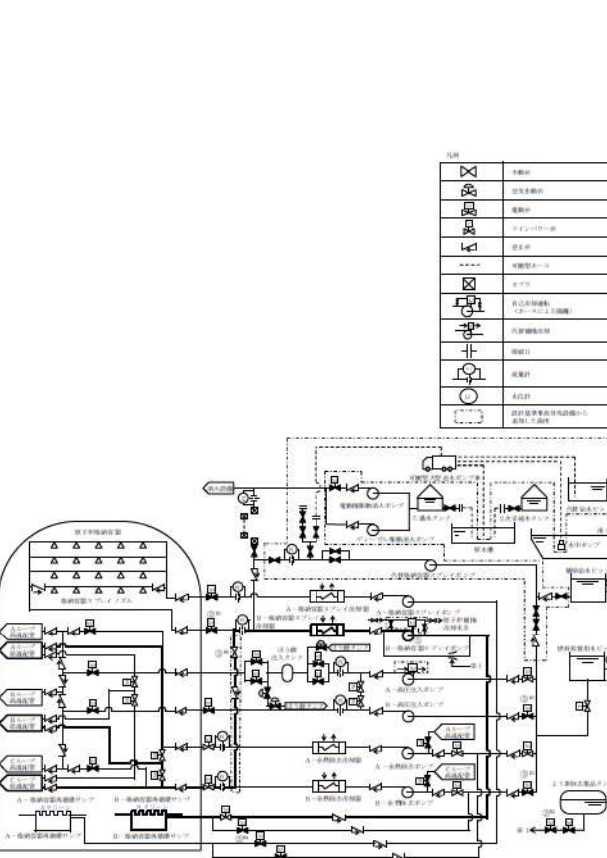
第 1.4-25 図 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

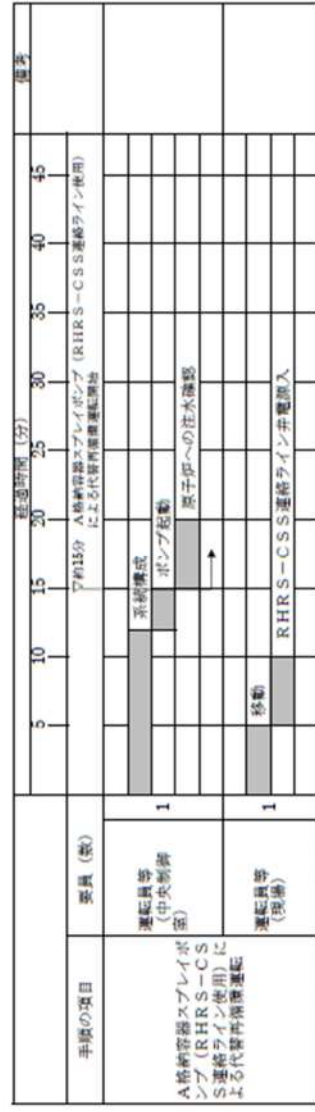
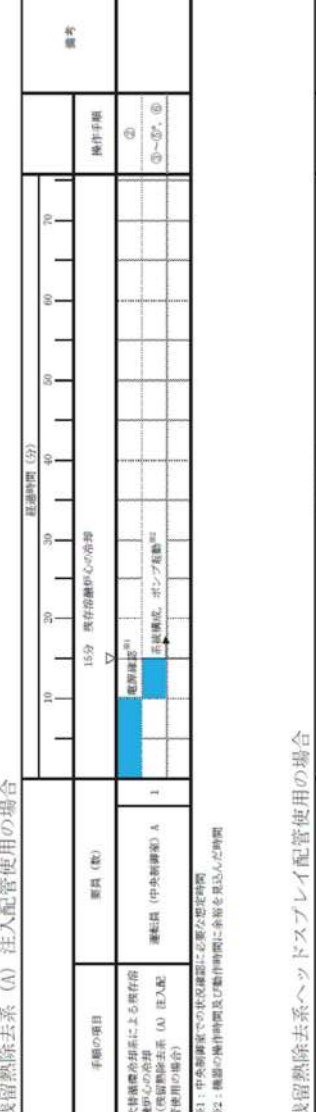
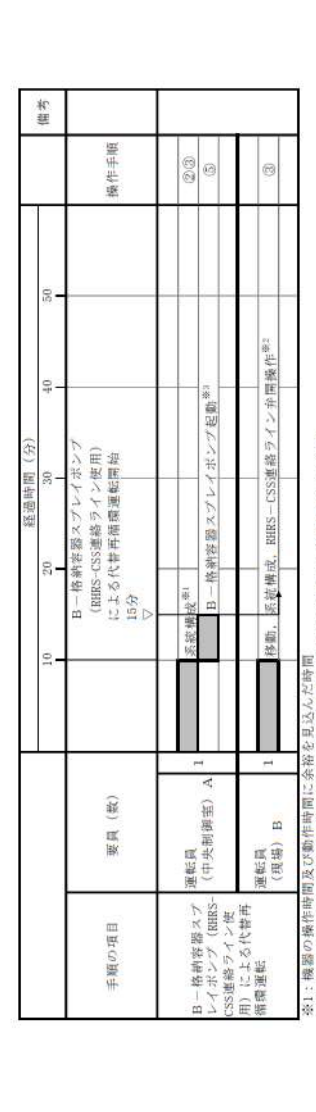
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
 <p>第 1.4.15 図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概略図</p>	 <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 957 1321 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>寄名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>②^{#2} ⑤^{#2} ⑤^{#2}</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	寄名称	① ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁	② ^{#2} ⑤ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁	④ ^{#4}	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#5}	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第 1.4.17 図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS 連絡ライン使用）による代替再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1029 1971 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口CV外種隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>上り蒸除去薬品タンク注入ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>B-全熱除去ポンプ内種隔離弁入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>B-全熱除去ポンプ内種隔離弁出口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#6}</td> <td>B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{#1}	B-格納容器スプレイ冷却器出口CV外種隔離弁	全閉→全開	② ^{#2}	上り蒸除去薬品タンク注入ライン止め弁	全閉→全開	③ ^{#3}	B-全熱除去ポンプ内種隔離弁入口弁	全閉確認	④ ^{#4}	B-全熱除去ポンプ内種隔離弁出口弁	全閉→全開	⑤ ^{#5}	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉確認	⑥ ^{#6}	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全閉→全開	⑦	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容 充実 ・概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	寄名称																																								
① ^{#1}	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
② ^{#2} ⑤ ^{#2} ⑤ ^{#2}	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
③ ^{#3}	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
④ ^{#4}	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑤ ^{#5}	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
① ^{#1}	B-格納容器スプレイ冷却器出口CV外種隔離弁	全閉→全開																																							
② ^{#2}	上り蒸除去薬品タンク注入ライン止め弁	全閉→全開																																							
③ ^{#3}	B-全熱除去ポンプ内種隔離弁入口弁	全閉確認																																							
④ ^{#4}	B-全熱除去ポンプ内種隔離弁出口弁	全閉→全開																																							
⑤ ^{#5}	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉確認																																							
⑥ ^{#6}	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全閉→全開																																							
⑦	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

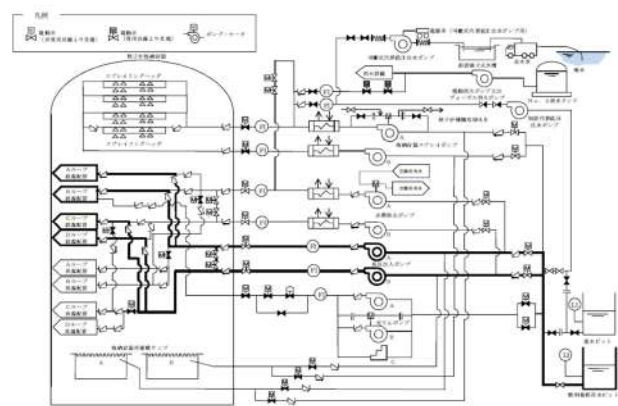
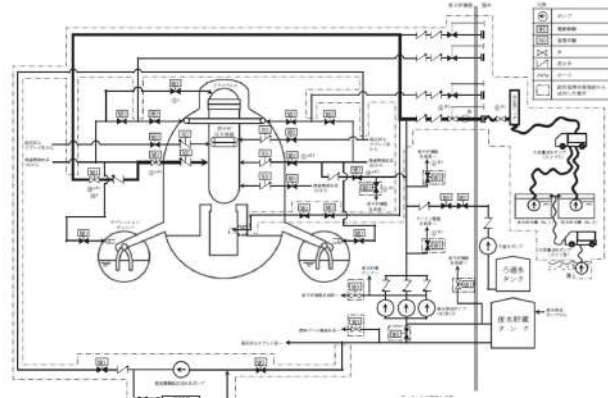
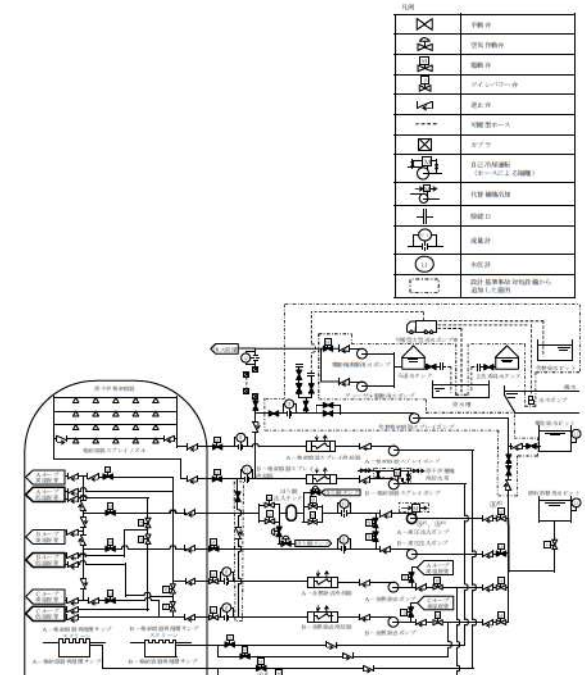
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p>  <p>第1.4.16図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※：変更移動時間には防災運具準備時間を含む。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>  <p>第1.4.17図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>泊発電所3号炉</p>  <p>第1.4.18図 B一格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間と余裕を見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
 <p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概要図</p>	 <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 861 1310 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/D 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>R/B B/D 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>R/R ヘッドスプレー注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#1}</td> <td>緊急時原子炉側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑨^{#1} ⑩[#]</td> <td>R/R ヘッドスプレーライン洗冷流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑨^{#2}</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	赤名称	④ ^{#1}	T/D 緊急時隔離弁	④ ^{#2}	R/B B/D 緊急時隔離弁	④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ ^{#1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑤ [#]	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁	⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁	⑧ ^{#1}	緊急時原子炉側外部注水入口弁	⑨ ^{#1} ⑩ [#]	R/R ヘッドスプレーライン洗冷流量調整弁	⑨ ^{#2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁	 <p>第1.4.19図 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1769 343 1960 630"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>△</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>▽</td> <td>自動閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>◇</td> <td>隔離弁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ワンウェイバルブ</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>遮断弁</td> </tr> <tr> <td>■</td> <td>隔離弁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>安全弁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>自力閉鎖機構（電圧による閉鎖）</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>閉鎖機構</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>調整弁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>弁</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1937 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプル側閉鎖弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料冷却用水ピット側閉鎖弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	記号	説明	△	手動弁	▽	自動閉鎖弁	◇	隔離弁	○	ワンウェイバルブ	□	遮断弁	■	隔離弁	○	安全弁	○	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）	○	自力閉鎖機構（電圧による閉鎖）	○	閉鎖機構	○	調整弁	○	弁	○	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑤ [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプル側閉鎖弁	全開→全閉	⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料冷却用水ピット側閉鎖弁	全開→全閉	⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p>
操作手順	赤名称																																																																			
④ ^{#1}	T/D 緊急時隔離弁																																																																			
④ ^{#2}	R/B B/D 緊急時隔離弁																																																																			
④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																			
⑤ ^{#1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																			
⑤ ^{#2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																																			
⑤ [#]	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁																																																																			
⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁																																																																			
⑧ ^{#1}	緊急時原子炉側外部注水入口弁																																																																			
⑨ ^{#1} ⑩ [#]	R/R ヘッドスプレーライン洗冷流量調整弁																																																																			
⑨ ^{#2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁																																																																			
記号	説明																																																																			
△	手動弁																																																																			
▽	自動閉鎖弁																																																																			
◇	隔離弁																																																																			
○	ワンウェイバルブ																																																																			
□	遮断弁																																																																			
■	隔離弁																																																																			
○	安全弁																																																																			
○	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）																																																																			
○	自力閉鎖機構（電圧による閉鎖）																																																																			
○	閉鎖機構																																																																			
○	調整弁																																																																			
○	弁																																																																			
○	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）																																																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																		
⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																		
⑤ [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプル側閉鎖弁	全開→全閉																																																																		
⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料冷却用水ピット側閉鎖弁	全開→全閉																																																																		
⑤ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																		